

市民意識調査等の結果概要

第1 呉市民意識調査について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の呉市に対するイメージや生活にかかわるさまざまな分野についての意見・評価などを探ることにより、今後の市政運営の参考資料とします。

(2) 調査の設計

調査対象 呉市に居住する満 18 歳以上の男女 4,000 人
(前回調査 呉市に居住する満 20 歳以上の男女 4,000 人)
抽出方法 地区ごとに住民基本台帳から無作為抽出(前回調査と同じ)
調査方法 郵送配布・郵送回収(前回調査と同じ)
実施期間 令和 6 年 10 月 23 日～11 月 8 日(前回調査 令和元年 12 月 10 日～27 日)

(3) 回収結果

有効回収数 1,664 票 男性 734 票, 女性 895 票, 無回答 16 票・不明 19 票(回収率 41.6%)
[前回調査: 1,577 票 男性 655 票, 女性 904 票, 無回答 18 票(回収率 39.4%)]

回答者の年代別内訳			
20 歳代以下	128 人 (7.7%)	60～64 歳	134 人 (8.1%)
30 歳代	132 人 (7.9%)	65～74 歳	308 人 (18.5%)
40 歳代	218 人 (13.1%)	75 歳以上	482 人 (29.0%)
50 歳代	245 人 (14.7%)	不明	17 人 (1.0%)

2 調査結果の概況

調査結果の概況は、次のとおりです。

(1) 呉市の住みやすさ

- ア 呉市を「住みやすい」と感じている人は 61.3%で、前回調査(68.2%)より 6.9 ポイント減少しています。
- イ 呉市に「愛着」を感じている人は、74.3%で、前回調査(79.3%)より 5.0 ポイント減少しています。
- ウ 住んでいる地域で人口が減っていると感じている人は 66.0%で、前回調査(67.2%)と同程度となっています。
- エ 人口減少を抑えるために必要な取組では、「産業の競争力強化(45.6%)」「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援(38.9%)」「生活環境の充実(33.1%)」の順に多くなっています。また、年齢層別では、子育て世帯の多い 40 歳代以下では、「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援」が最も多くなっています。(20 歳代: 62.1%, 30 歳代: 56.9%, 40 歳代: 53.9%)

(2) 健康づくり

現在、「健康である」と感じている人は 69.6%で、前回調査(71.8%)より 2.2 ポイント減少していますが、定期的な運動を行っている人(週 2 回以上)は、41.5%と、前回調査(37.3%)から増加しています。また、毎年、健康診査を受診している人は、70.8%で、前回調査(72.7%)から 1.9 ポイント減少しています。

(3) 少子化対策, 高齢化対策, 教育, 市民協働

- ア 少子化対策として充実すべき取組では、「雇用・収入の安定(40.1%)」「保育料・学費の軽減(34.0%)」「保育サービス(保育所, 一時預かり)(28.9%)」「出産・育児に関する医療体制の整備(28.1%)」の順に多くなっています。
- イ 高齢化対策として充実すべき取組では、「生活支援(買い物, 食事など)(29.4%)」「移動支援(コミュニティバスの運行支援など)(28.8%)」「家族介護者支援(27.7%)」「施設介護サービス(特別養護老人ホームなど)(27.6%)」の順に多くなっています。
- ウ 教育環境の向上に向けて進めていけばよい取組では、「教員の増員(48.3%)」「ICT 等を効果的に活用した一人一人の児童・生徒に最適な学びの充実(31.9%)」「学校トイレの洋式化(28.3%)」「通学費への助成(26.8%)」の順に多くなっています。
- エ 地域活動の維持や地域の課題解決に向けて必要だと思う取組では、「地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり(52.7%)」「活動内容の情報発信(33.5%)」「将来の担い手の確保(子どもや学生, 外国人など)(28.2%)」の順に多くなっています。

(4) 安全・安心

- ア 台風や大雨のとき、避難情報を確認するようにしている人は 85.3%で、避難情報の確認方法は、「テレビ(70.8%)」「携帯アプリ・メール等(66.9%)」が多く、「防災行政無線(19.4%)」は前回調査(32.9%)から 13.5 ポイント減少しています。
- イ 平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興が進んでいると思う人は 77.8%であり、前回調査(63.9%)から 13.9 ポイント増加しています。一方で、進んでいないと思う分野は「道路・河川・農地等の復旧(44.5%)」「今後の災害への備え(35.9%)」「幹線道路・JR の機能強化(35.0%)」の順に多くなっています。

(5) 観光・交流, 農水産業, 商工業

- ア 多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組では、「観光地の駐車場やトイレ、案内表示の整備(39.8%)」「日本遺産などを活用した新たな観光メニュー(体験・お土産など)の充実(36.1%)」「観光地への公共交通の充実(34.8%)」「映画・ドラマ等のロケ誘致、映画・アニメを活用した観光客誘致(34.7%)」の順に多くなっています。
- イ 呉市の農水産業を発展させていくために必要な取組では、「農水産業の新規参入者や後継者を育成する(47.0%)」「市民が積極的に地元産を購入する(43.7%)」が多くなっています。
- ウ 商工業を発展させていくために必要な取組では、「企業誘致・留置による働く場の確保(62.4%)」「人材の安定的な確保と人材育成の支援(44.7%)」が多くなっています。

(6) 高次都市機能

今後、整備していくべき都市機能では、「JR 呉線の機能強化(54.2%)」「商業施設(45.8%)」「基幹バス・生活バスなどの充実(45.2%)」の順に多くなっています。

(7) 呉市の政策全般に対する満足度・重要度

市役所が提供しているサービスについて、「満足度が高い」との評価を受けたサービスは、「消防・救急(救急・消防活動など)」「広報(市政だより, 市ホームページなど)」などとなっています。また、「重要度が高い」との評価を受けたサービスは、「消防・救急(救急・消防活動など)」「防災, 災害対応(浸水対策など)」などとなっています。

3 調査結果の主な特徴

主な特徴は、次のとおりです。[単位：％]（ ）内は前回調査の数値 ※は新規項目
グラフ中のN数は、有効回収数と差異があるグラフのみ表記

(1) 呉市の住みやすさについて

ア 呉市を「住みやすい」と感じている人 ⇒ 61.3(68.2)【図1】

- ・住みよいと感じる要因
 - 1位 買い物環境 58.3 (50.9)
 - 2位 医療環境 43.3 (42.6)
 - 3位 自然環境 35.0 (38.0)

イ 呉市を「住みにくい」と感じている人 ⇒ 28.6(24.5)【図1】

- ・住みにくいと感じる要因
 - 1位 移動環境（公共交通機関）※59.7 (－)
 - 2位 買い物環境 58.6 (63.3)
 - 3位 通勤，通学 33.0 (38.8)

ウ 呉市に愛着を感じている人 ⇒ 74.3(79.3)【図2】

エ 呉市に誇りを感じている人※ ⇒ 37.4(－)【図3】

オ 住んでいる地域で人口が減っていると感じている人 ⇒ 66.0(67.2)

カ 地域の人口の変化を不安に感じている人 ⇒ 46.4(46.2)【図4】

- ・不安に感じる理由
 - 1位 近隣の商店等が閉店し不便になる 55.9 (56.7)
 - 2位 にぎわいがなくなる 51.6 (51.7)
 - 3位 公共交通機関が維持できなくなり不便になる 46.1 (45.7)

キ 人口減少を抑えるために必要な取組

- 1位 産業の競争力強化(企業誘致など) 45.6 (30.2)
- 2位 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援38.9 (35.4)
- 3位 生活環境の充実 33.1 (50.1)

・「産業の競争力強化」は50歳代が多く、「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援」は、40歳代以下で特に多くなっています。

ク 今住んでいる地域へ住み続けたい人 ⇒ 60.9(64.0)【図5】

- ・「移りたい(14.1)」は、前回調査(11.8)より2.3ポイント増加しています。
- ・「移りたい」は、20歳代で30.6となり前回調査(22.9)より7.7ポイント増加、30歳代で28.7となり前回調査(21.2)より7.5ポイント増加しています。
- ・「移りたい」と回答した人が希望する転居地域は、広島市(29.5)、県外(25.6)、東広島市(15.4)となっています。

ケ 他の地域(市内, 市外)へ移りたいと思う理由

- 1位 買い物環境 57.1 (55.2)
- 2位 医療環境 32.5 (32.6)
- 3位 通勤，通学 30.8 (34.8)

図1 呉市の住みやすさ

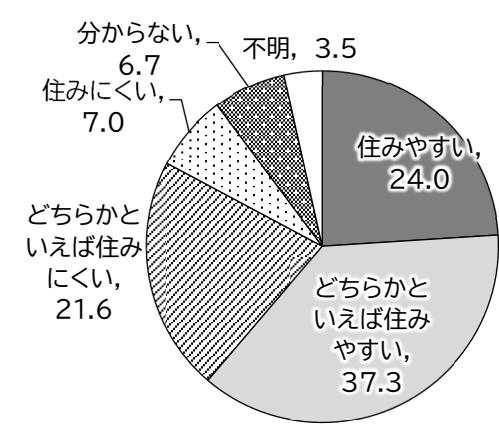


図2 呉市への愛着

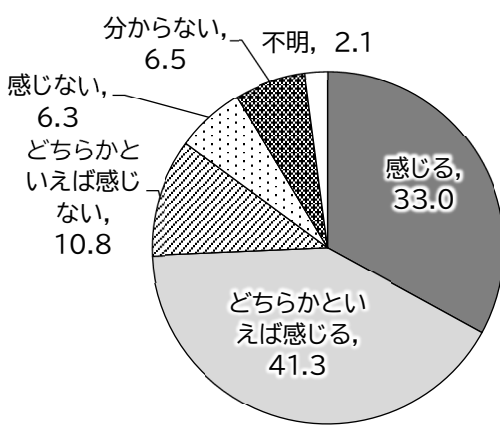


図3 呉市への誇り

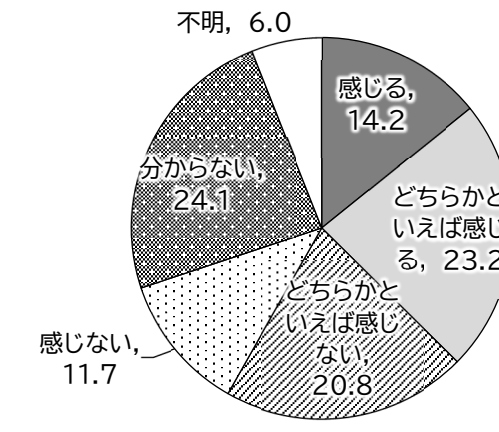


図4 地域の人口変化への不安

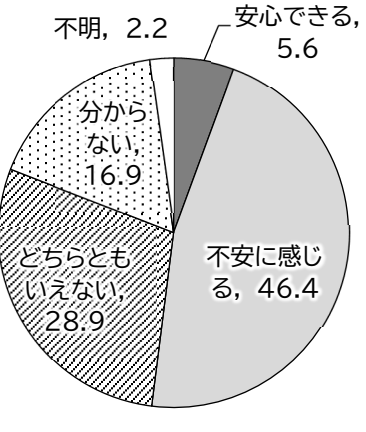
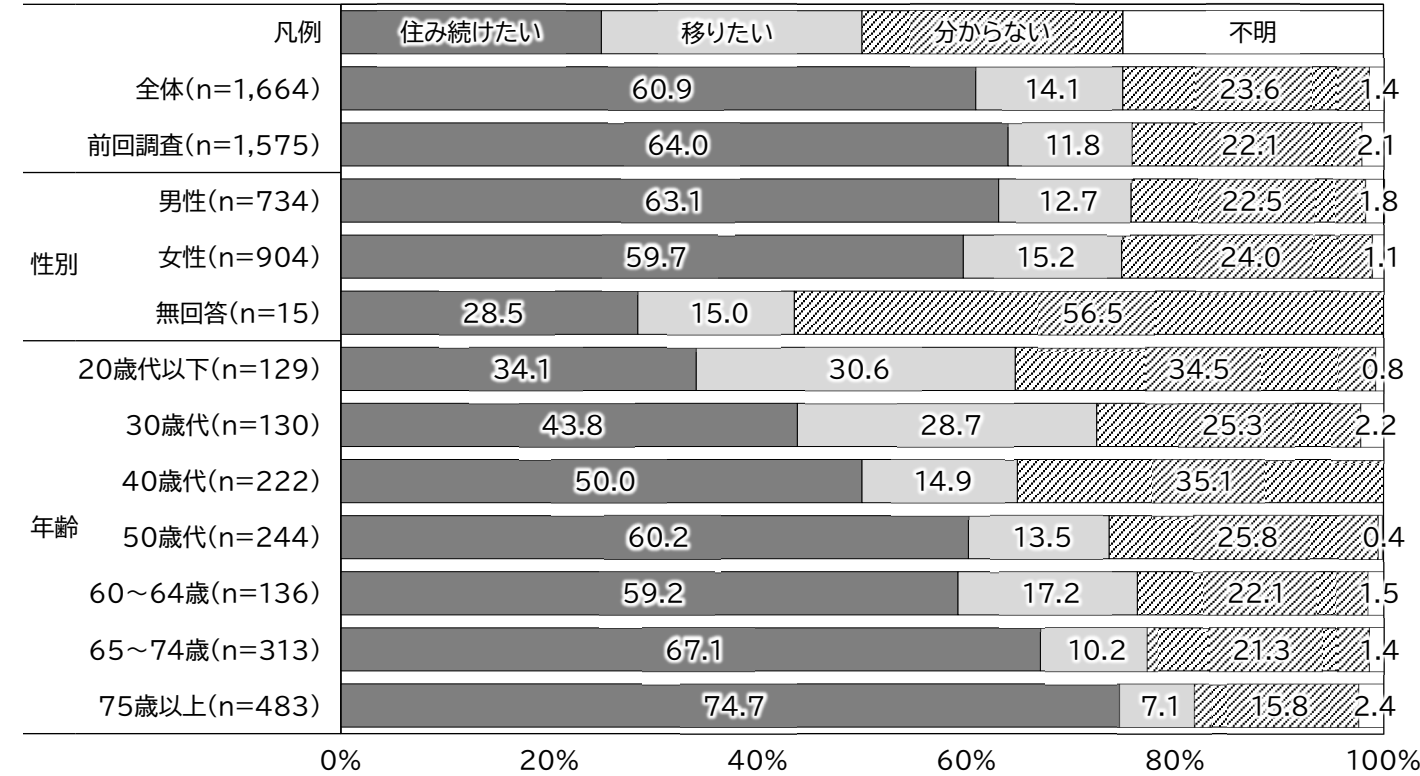


図5 今住んでいる地域への定住意思



(2) 呉市の主要課題に対する意識について

ア 健康づくり

(ア) 現在、「健康である」と感じている人 ⇒ 69.6(71.8)

(イ) 定期的な運動を行っている人 ⇒ 41.5(37.3)【図6】

・年齢が上がるほど、定期的な運動を行っている人が多くなっています。

(ウ) 健康増進の運動のために必要な環境整備

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1位 通勤・通学・日々の活動等で身体を使うようなまちづくり※ | 34.4 (ー) |
| 2位 ウォーキング・ランニングコースの整備 | 30.7 (32.8) |
| 3位 各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど) | 24.9 (33.3) |

(イ) 毎年、健康診査を受診している人 ⇒ 70.8(72.7)

・若い年齢層や高齢者層で「受診している」が少なくなっています。

イ 少子化対策・高齢化対策

(ア) 少子化対策として充実すべき取組【図7】

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1位 雇用・収入の安定 | 40.1 (37.7) |
| 2位 保育料・学費の軽減 | 34.0 (24.3) |
| 3位 保育サービス(保育所、一時預かり) | 28.9 (29.0) |

(イ) 高齢化対策として充実すべき取組【図8】

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1位 生活支援(買い物、食事など) | 29.4 (33.4) |
| 2位 移動支援(コミュニティバスの運行支援など) | 28.8 (27.9) |
| 3位 家族介護者支援※ | 27.7 (ー) |

ウ 人権尊重・男女共同参画

(ア) 差別はなくすべきであると考えている人 ⇒84.8(83.6)

(イ) 男女の地位が平等になっていると感じている人 ⇒15.0(15.0)

エ 教育

(ア) 教育環境の向上に向けて取り組むべきこと【図9】

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1位 教員の増員 | 48.3 (47.6) |
| 2位 ICT等を効果的に活用した一人一人に最適な学びの充実※ | 31.9 (ー) |
| 3位 学校トイレの洋式化 | 28.3 (26.7) |

(イ) 子どもたちの豊かな心の育成のため必要な取組

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1位 子どもがのびのびと自由に身体を使って遊ぶ機会を増やすこと※ | 50.7 (ー) |
| 2位 地域のよさを学ぶことができる機会を増やすこと | 50.2 (48.7) |
| 3位 子どもが『本物体験』できる機会を増やすこと | 49.1 (51.1) |

図6 定期的な運動を行っている人

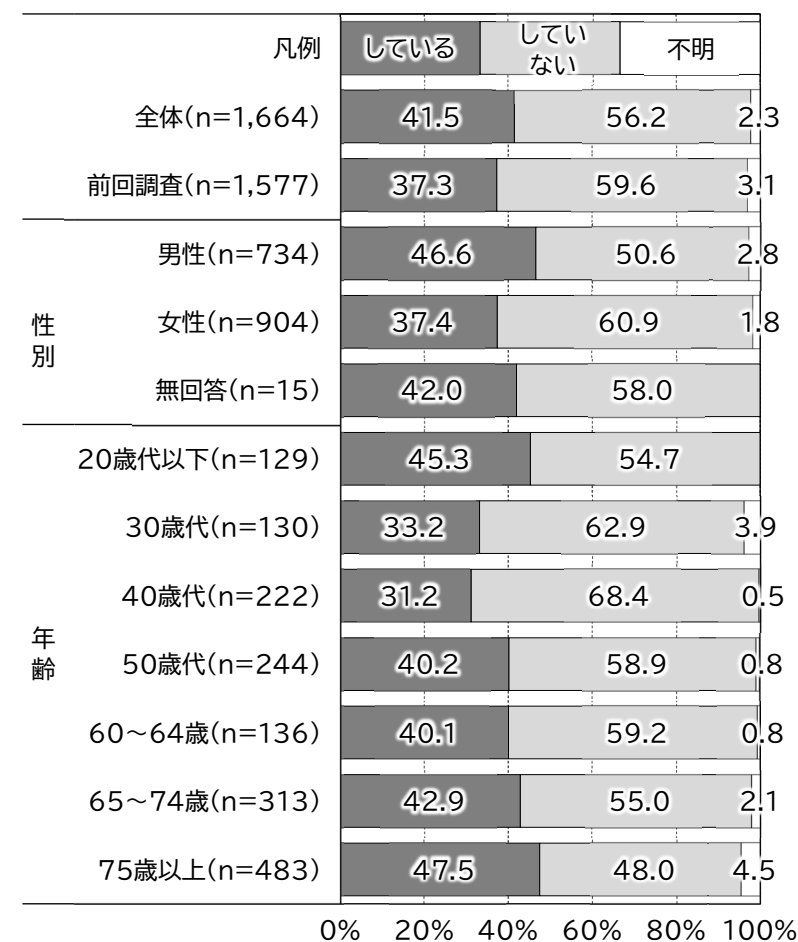


図7 少子化対策として充実すべき取組

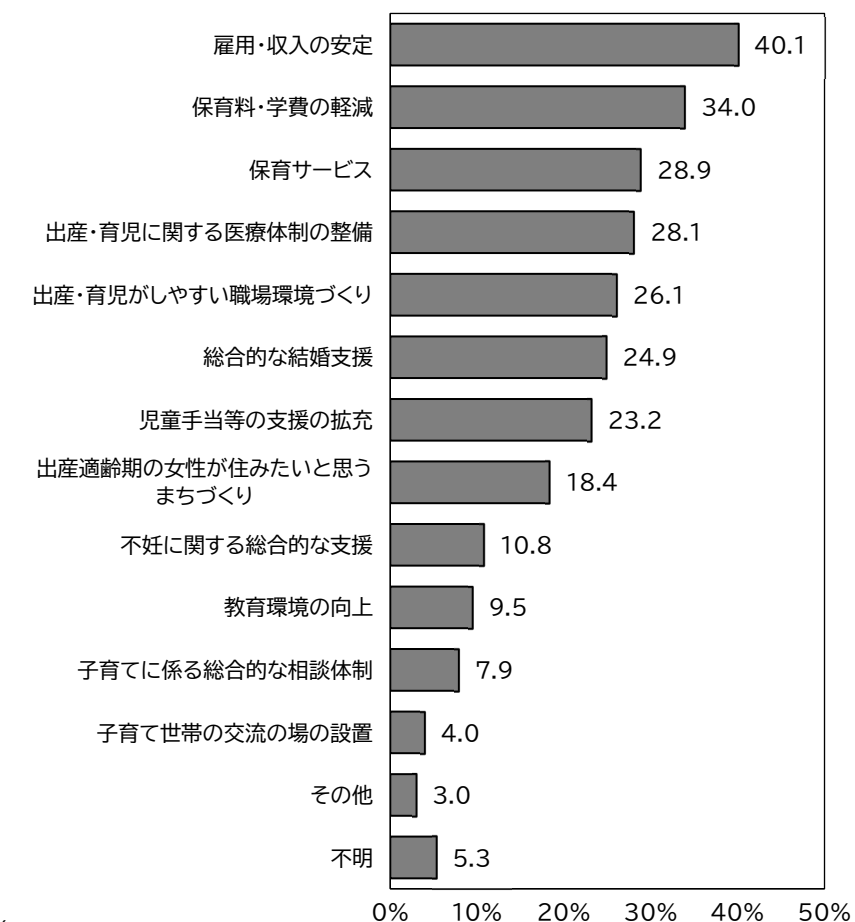


図8 高齢者対策として充実すべき取組

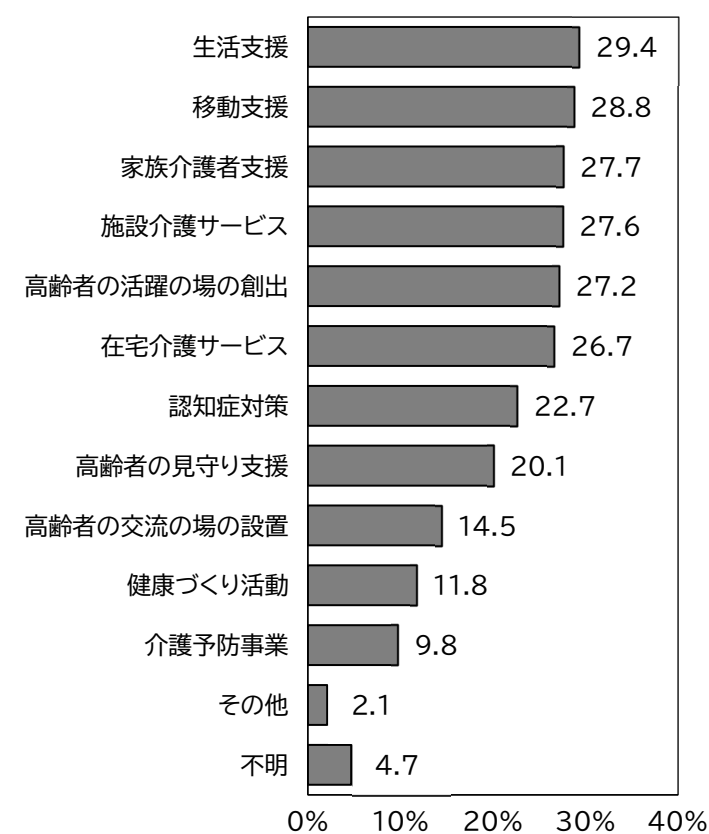
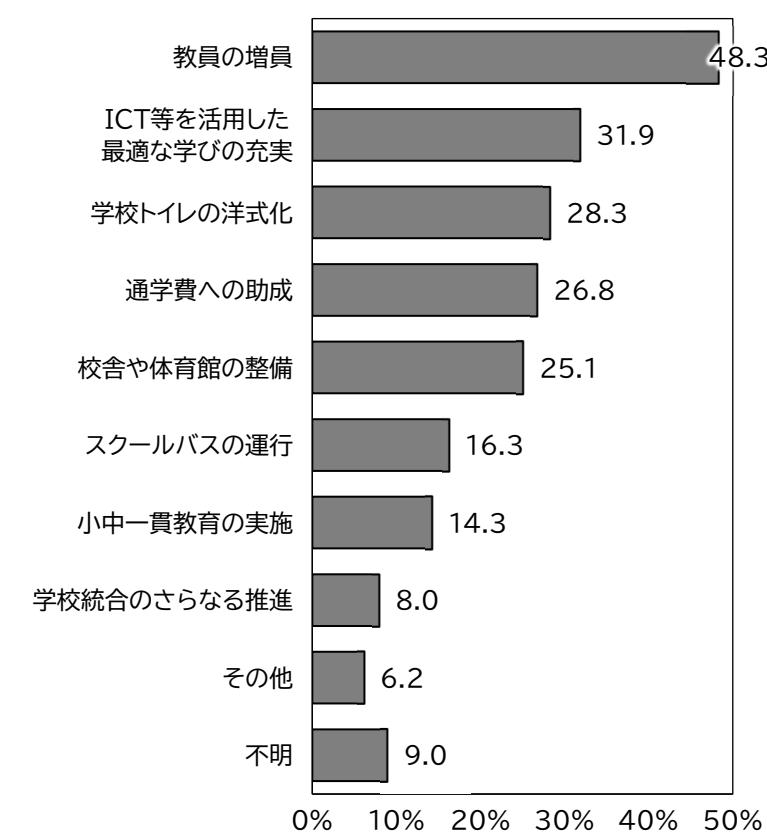


図9 教育環境の向上に向けて取り組むべきこと



オ 市民協働

(ア) お住まいの地域で地域活動に参加している人 ⇒ 37.0(37.7)

(イ) 参加している地域活動

1 位 自治会	78.4 (65.1)
2 位 祭り，運動会などの世話	24.6 (23.4)
3 位 ボランティア活動	17.3 (20.9)

(ウ) 地域活動に参加しやすくなると思うこと

1 位 世話役の持ち回りなどの負担を減らす	43.8 (43.4)
2 位 活動内容や連絡先などをPRする	28.6 (31.3)
3 位 活動団体からの声かけを行う	23.1 (26.9)

(I) 地域活動の維持や地域の課題解決に必要なと思う取組【図10】

1 位 地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり	52.7 (56.5)
2 位 活動内容の情報発信	33.5 (29.1)
3 位 将来の担い手の確保(子どもや学生，外国人など)	28.2 (30.4)

カ 安全・安心

(ア) 市役所からの発信情報の確認手段

1 位 市政だより	82.3 (87.0)
2 位 ホームページ	19.9 (12.9)
3 位 市のテレビ広報番組	13.4 (20.0)

(イ) 台風や大雨のとき，避難情報を確認するようにしている人 ⇒ 85.3(87.5)

・避難情報の確認方法

1 位 テレビ	70.8 (70.8)
2 位 携帯アプリ・メール等	66.9 (61.0)
3 位 テレビのデータ放送	22.7 (26.7)

(ウ) 自宅から避難所までの避難経路を確認している人 ⇒ 87.7(87.4)

(I) 住んでいる地域での災害に対する不安

地震 ⇒ 81.5 (79.5)	山崩れ，崖崩れ ⇒ 56.8 (60.5)
建物火災 ⇒ 61.3 (59.4)	氾らん，低地部の浸水 ⇒ 51.0 (51.8)

(オ) 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興が進んでいると思う人 ⇒ 77.8(63.9)

(カ) 復旧・復興が(あまり)進んでいないと思う分野【図11】

1 位 道路・河川・農地などの復旧	44.5 (69.9)
2 位 今後の災害への備え	35.9 (29.0)
3 位 幹線道路・JRの機能強化	35.0 (13.7)

キ 観光・交流

多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組【図12】

1 位 観光地の駐車場やトイレ，案内表示の整備	39.8 (43.7)
2 位 日本遺産などを活用した新たな観光メニューの充実	36.1 (30.4)
3 位 観光地への公共交通の充実	34.8 (36.6)

図10 地域活動の維持や課題解決に必要なと思う取組

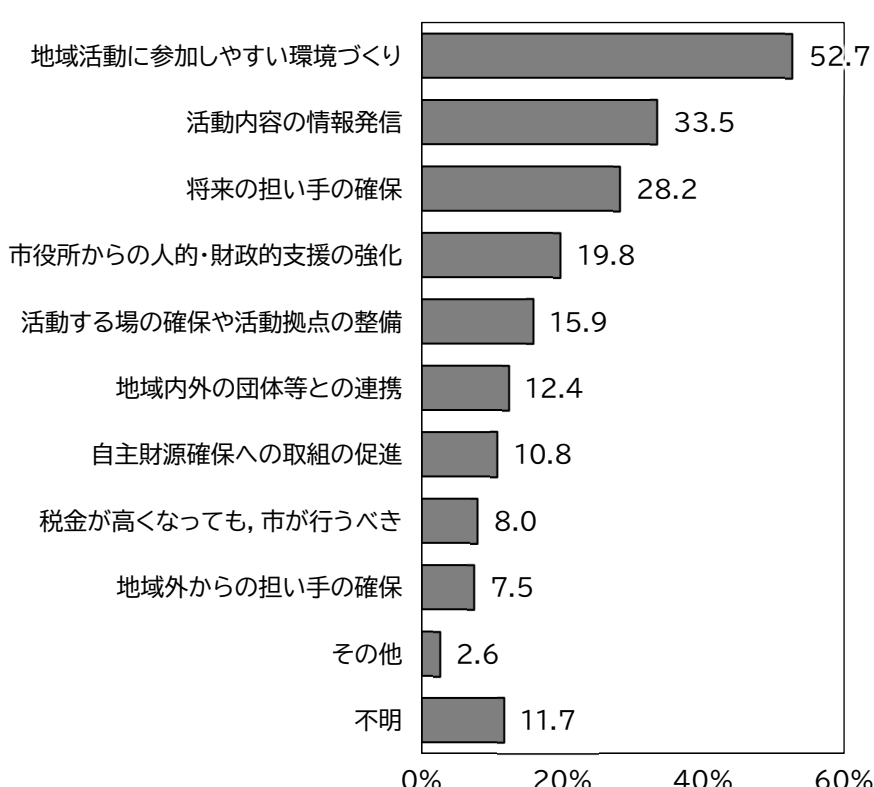


図11 復旧・復興が(あまり)進んでいないと思う分野

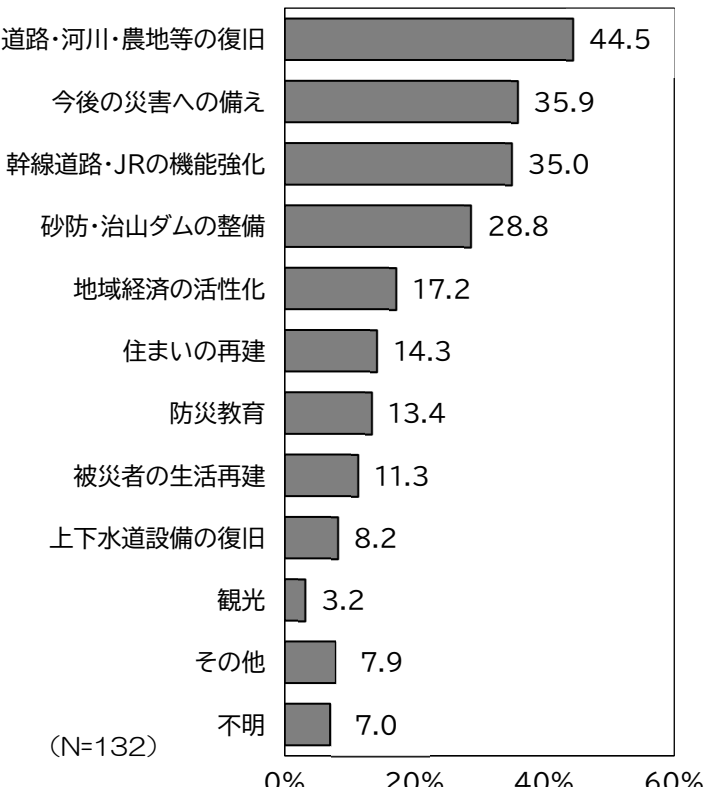
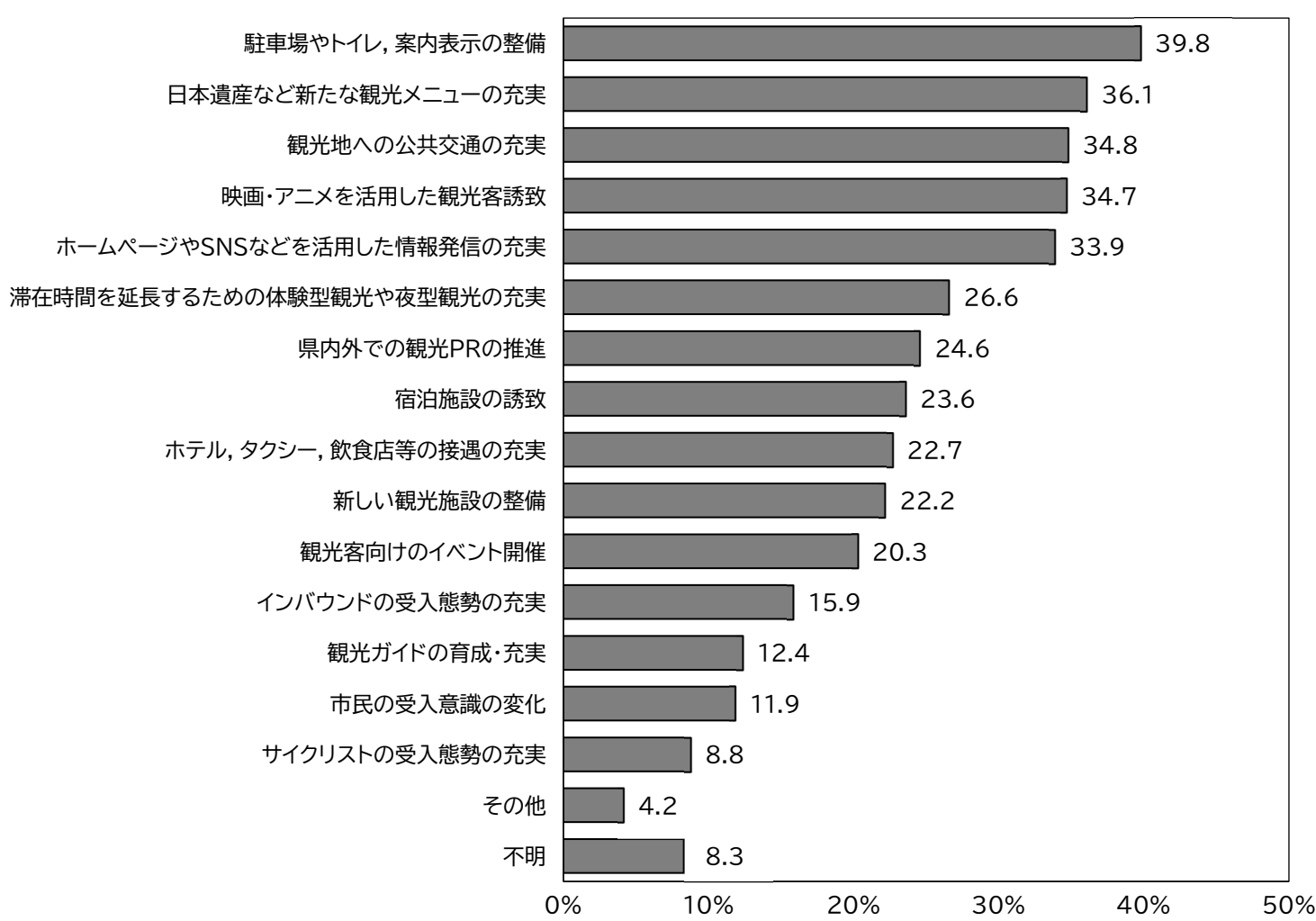


図12 多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組



ク 農水産業

(ア) 食料品を購入するとき「地元産」を意識する ⇒ 60.9(65.3)

(イ) 呉市の特産品だと思う農水産物

1位	かき	65.9 (71.7)	4位	レモン	57.3 (55.2)
2位	ちりめんいりこ	64.7 (74.9)	5位	お酒※	31.9 (ー)
3位	みかん	63.2 (72.7)	6位	キャベツ	30.0 (35.1)

(ウ) 呉市の農水産業を発展させていくために必要な取組【図13】

1位	農水産業の新規参入者や後継者を育成する	47.0 (46.4)
2位	市民が積極的に地元産を購入する	43.7 (45.5)
3位	農水産物の「ブランド化」を進める	33.4 (33.3)

ケ 商工業

商工業を発展させていくために必要な取組【図14】

1位	企業誘致・留置による働く場の確保	62.4 (56.6)
2位	人材の安定的な確保と人材育成の支援	44.7 (44.3)
3位	起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援	31.0 (32.8)

コ 環境

(ア) 地球環境に配慮した取組を行っている人 ⇒ 68.2(73.0)

(イ) 普段実行している地球環境に配慮した取組

1位	リサイクル(ごみの分別, 店頭回収の利用等)	76.3 (71.9)
2位	リデュース(マイバッグ持参, 詰替商品の利用等)	67.3 (65.4)
3位	節水, 節電	56.5 (55.9)

(ウ) 今後, 環境を良くするために取り組むべきこと【図15】

1位	補助や減税などの誘導策	34.9 (25.5)
2位	個人や企業の自主的取組	34.0 (30.1)
3位	情報提供	32.7 (22.3)

サ 公共施設

(ア) 重要だと思う公共施設

1位	図書館※	50.5 (ー)
2位	ごみ・し尿処理施設※	44.7 (ー)
3位	学校(学校の体育館などを含む)※	43.6 (ー)

(イ) 今後の公共施設の維持・管理の考え方【図16】

1位	同じ目的の公共施設をまとめ, 使わなくなった施設を廃止する	38.7 (40.4)
2位	ニーズが低下した施設を廃止する	34.3 (40.5)
3位	市役所と民間事業者が連携して, 少ない経費で施設を運営する	33.4 (30.4)

図13 農水産業を発展させていくために必要な取組

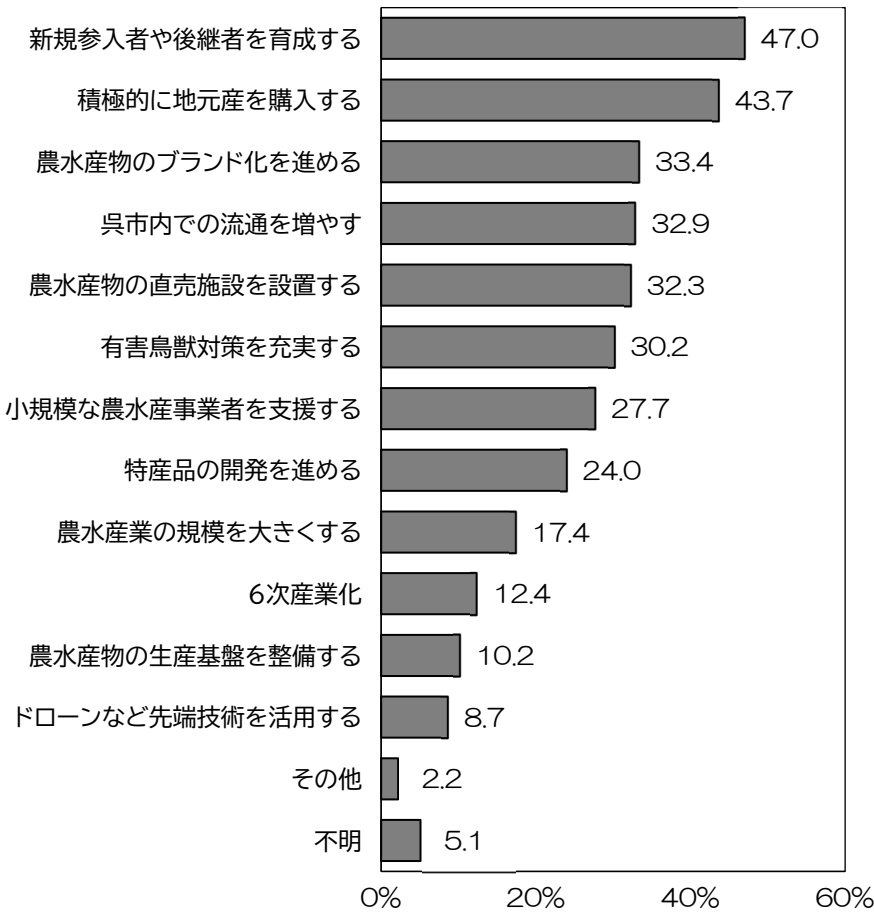


図14 商工業を発展させていくために必要な取組

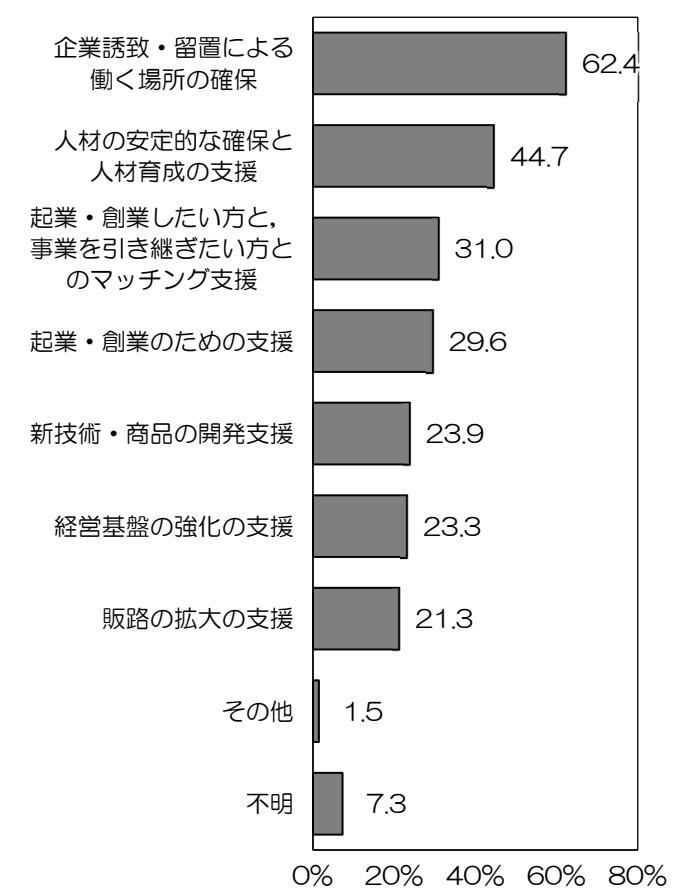


図15 環境を良くするために取り組むべきこと

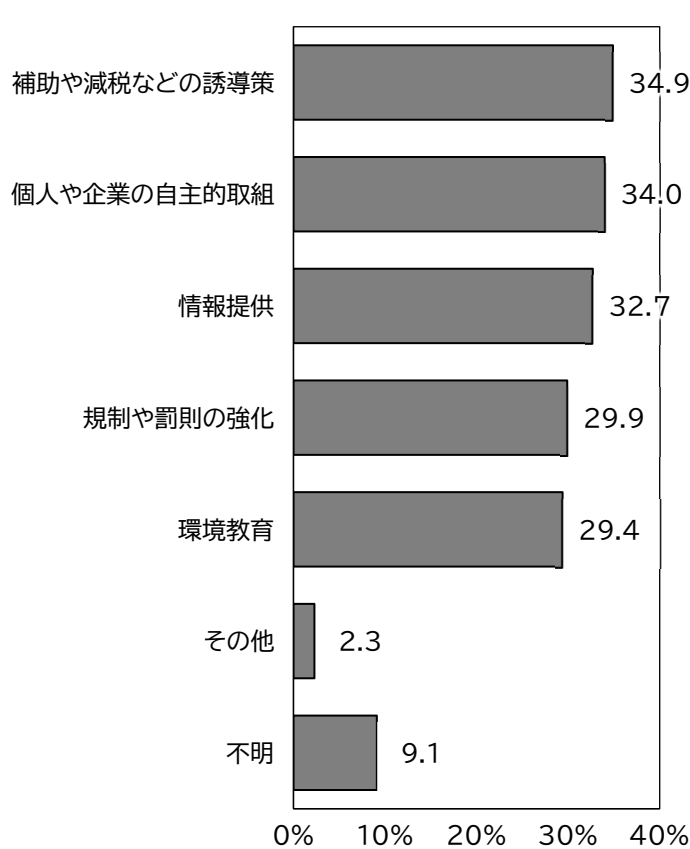
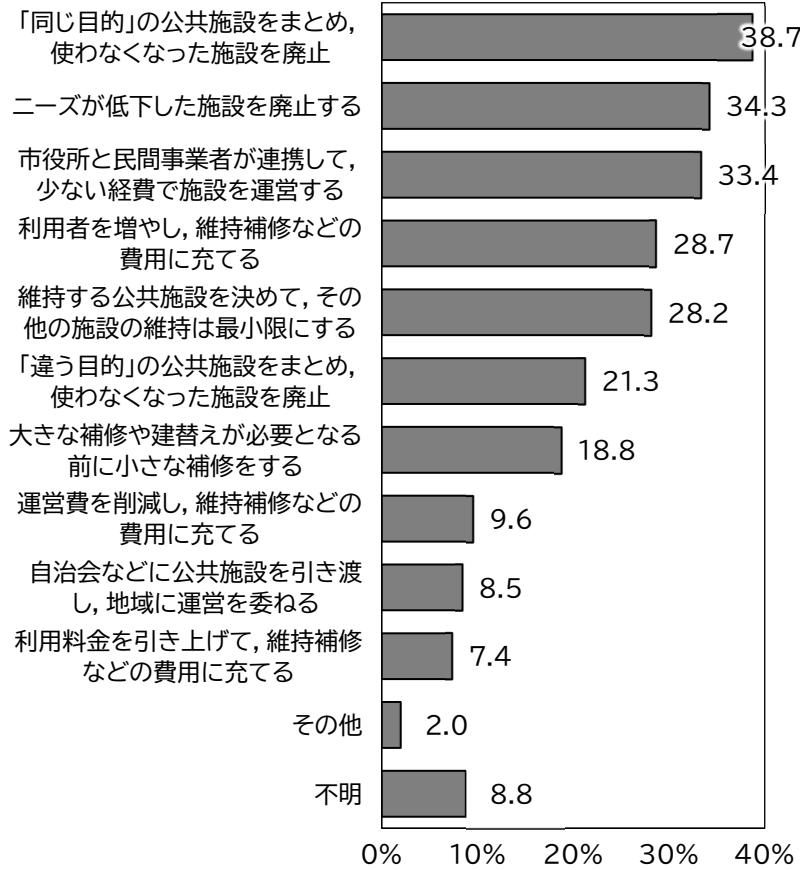


図16 今後の公共施設の維持・管理の考え方



シ 空き家対策

空き家の増加に対応するために必要な取組【図 17】

1位	空き家バンクの充実	52.4 (52.9)
2位	危険な空き家の解体費用への助成制度の充実	50.4 (47.0)
3位	空き家の流通促進のための相談窓口の充実	42.3 (37.9)

ス 高次都市機能

(ア) 主要都市にふさわしい施設や設備が十分に備わっていると感じている人 ⇒ 9.6(10.3)

(イ) 今後、整備していくべき都市機能【図18】

1位	J R呉線の機能強化	54.2 (52.0)
2位	商業施設	45.8 (40.4)
3位	基幹バス・生活バスなどの充実	45.2 (46.6)

図 17 空き家の増加に対応するために必要な取組

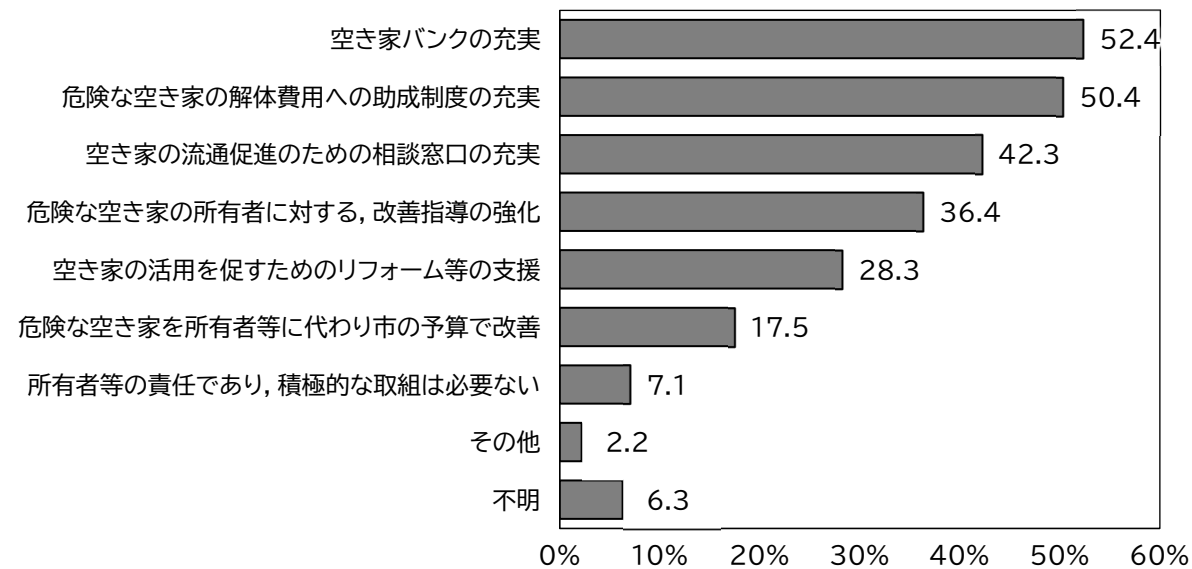
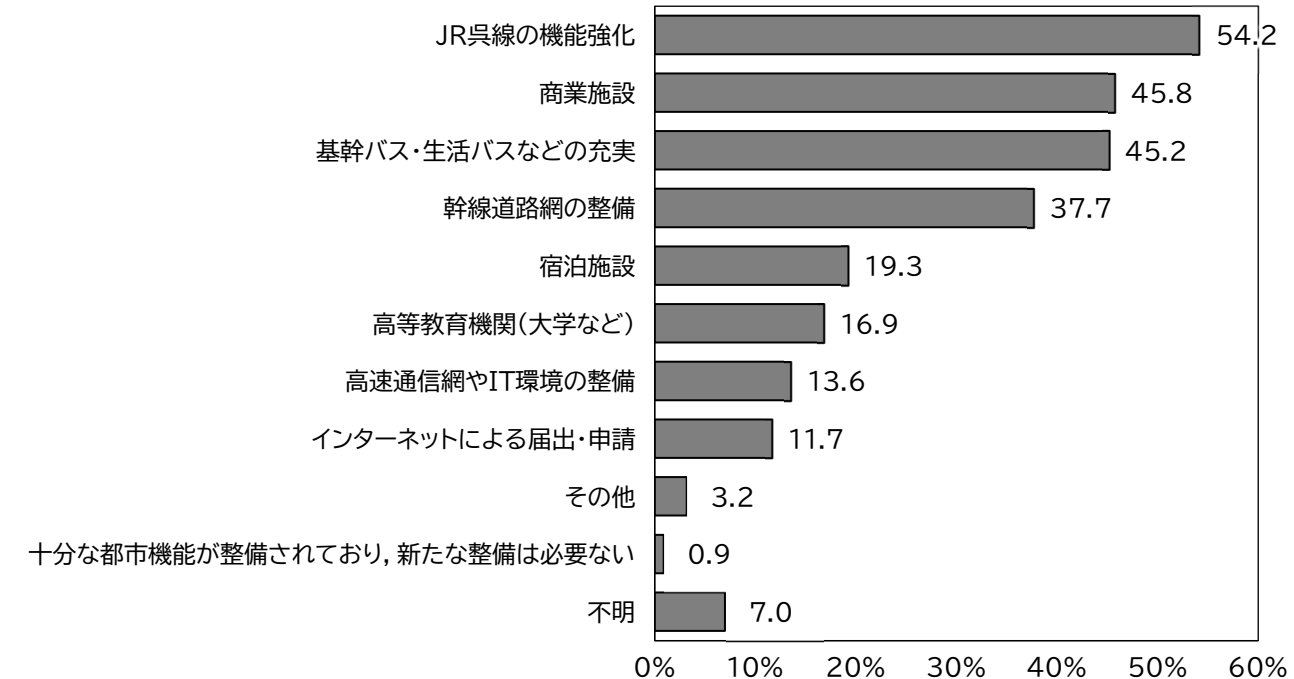


図 18 今後、整備していくべき都市機能



(3) 呉市の政策全般に対する満足度・重要度 【図 19】

○満足度が高い

- 1位 消防・救急（救急・消防活動など）
2位 広報（市政だより，市ホームページ，テレビ・ラジオ広報など）
3位 文化活動（文化ホール，美術館，博物館の管理・運営，イベントの実施など）

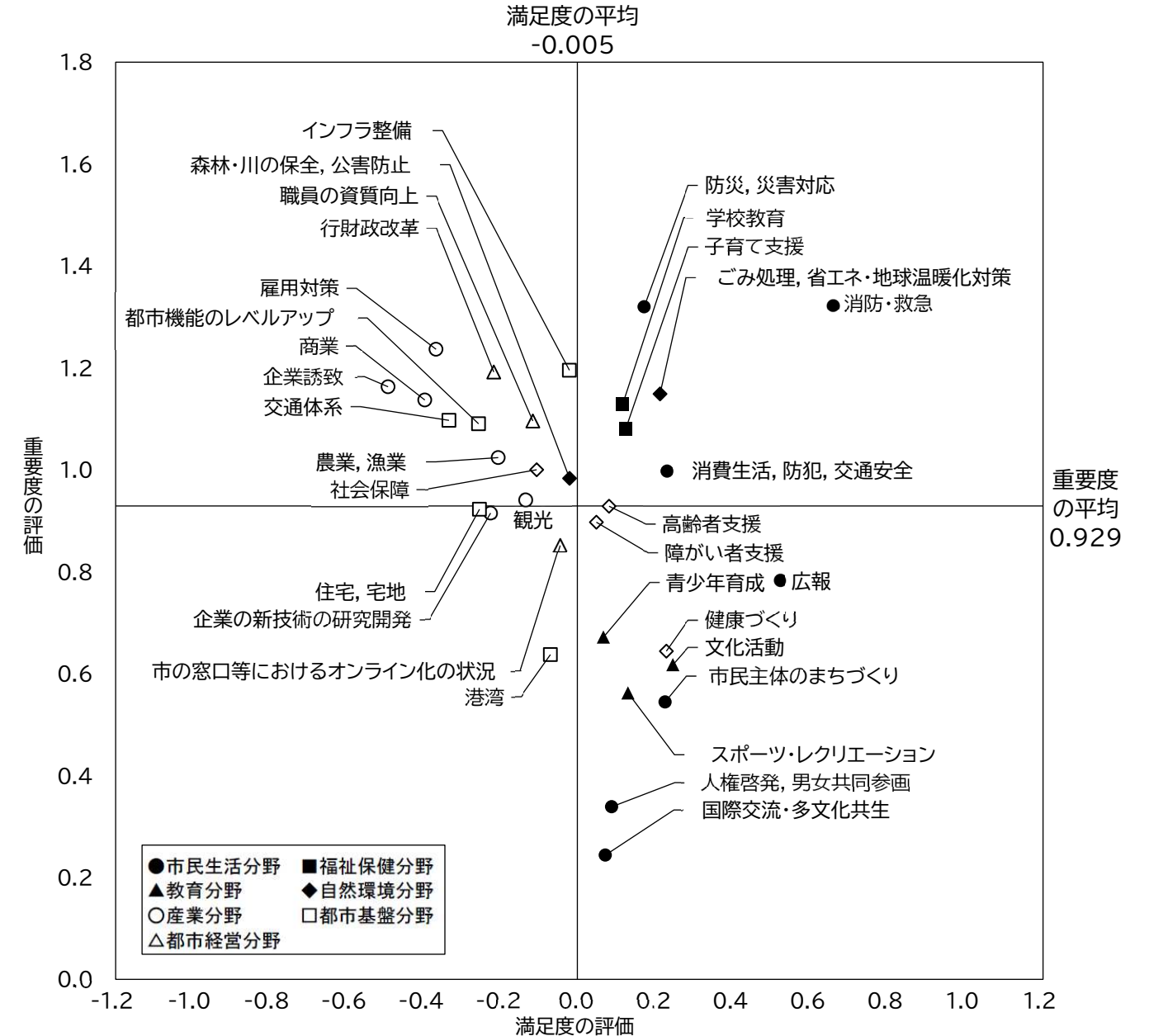
○満足度が低い

- 1位 企業誘致（企業誘致・留置）
2位 商業（商店街の活性化，小売業，流通業，起業・創業支援など）
3位 雇用対策（就労支援，雇用環境の整備など）

○重要度

- 1位 消防・救急（救急・消防活動など）
2位 防災，災害対応（浸水対策など）
3位 雇用対策（就労支援，雇用環境の整備など）

図19 呉市の政策全般に対する満足度・重要度の相関図(全体)



第2「結婚・出産・子育て」に関する意識調査について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の結婚や出産，子育てに関する実態や意向などを調査することにより，今後の市政運営の参考とします。

(2) 調査の設計

調 査 対 象 呉市に居住する満 18 歳から満 49 歳までの男女 2,000 人
(地区ごとに住民基本台帳からの抽出)〔前回調査と同じ〕

調 査 方 法 郵送配布・郵送及びインターネットによる回答
〔前回調査：郵送配布・インターネットによる回答〕

調査実施期間 令和 6 年 10 月 23 日～11 月 8 日
〔前回調査：令和元年 12 月 13 日～令和 2 年 1 月 17 日〕

(3) 回収結果

有 効 回 収 数 635 票 (回収率：31.8%)〔前回調査：434 票 (回収率：21.7%)〕

回答者の属性 性別

男性	230票 (36.2%)	女性	400票 (63.0%)	無回答	5 票 (0.8%)
----	--------------	----	--------------	-----	------------

年齢層別					
18～19歳	20票 (3.1%)	20～24歳	71票 (11.2%)	25～29歳	58票 (9.1%)
30～34歳	93票 (14.6%)	35～39歳	111票 (17.5%)	40～44歳	136票 (21.4%)
45～49歳	142票 (22.4%)	無回答	4 票 (0.6%)		

家族世帯構成 (割合の計は，端数処理の関係で 100%とならない場合があります。)

	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1人世帯	10.0%	25.4%	22.4%	7.5%	9.0%	7.4%	7.0%
1世帯家族 (夫婦等)	5.0%	5.6%	24.1%	18.3%	13.5%	14.0%	16.9%
2世帯家族 (親・子)	75.0%	62.0%	46.6%	63.4%	71.2%	69.1%	67.6%
3世帯家族 (親・子・孫)	10.0%	5.6%	5.2%	8.6%	5.4%	8.8%	7.7%
その他	0.0%	1.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.9%	0.0%	0.0%

2 調査結果の概況

調査結果の概況は，次のとおりです。

(1) 結婚

ア 「結婚している」は 62.8%で，前回調査 (62.7%) と同様の結果となっています。また，年齢層別でみると，25～29 歳は 49.2%で 5 割を超えていないものの，35～39 歳 (75.8%) で 7 割を超えて，40～44 歳 (79.2%) で最も多くなっています。

イ 結婚をしていない理由は，「結婚後の収入や住居など経済的な生活基盤が不安だから (42.9%)」が最も多く，次いで「理想の相手と出会わないから (41.4%)」「結婚資金がないから (33.7%)」の順となっています。

ウ 結婚の希望をかなえるための取組は，「子育てに関する支援の充実 (58.7%)」が前回調査 (58.0%) と同様に最も多く，次いで「家計全体の収入の増加 (55.2%)」「勤務時間の短縮などワークライフバランスの改善 (43.5%)」の順となっています。

(2) 出産

ア 理想とする子どもの数について，「2 人 (49.6%)」が前回調査 (48.6%) と同様に最も多くなっています。

イ 理想とする第 1 子の出産年齢については，前回調査と同様に全ての年齢層で「25～29 歳」が最も多くなっています。

ウ 理想の子どもの数を実現するために必要な条件については，「家計全体の収入が増える (65.8%)」が最も多く，次いで「教育費用の負担軽減 (52.4%)」，「保育料の負担軽減 (46.1%)」の順となっており，個人の収入増加や費用負担の軽減が求められています。

(3) 子育て

ア 子育てをする上で困っていることは，「出産や育児にお金がかかりすぎる (46.5%)」が最も多く，次いで「仕事と子育ての両立が難しい (31.4%)」「困っていることは特にない (25.7%)」の順となっています。

イ 子育てを支援するために必要な取組は，「保育料や教育費などの負担軽減 (71.6%)」が最も多く，次いで「医療費補助や扶養控除などの優遇措置 (51.3%)」，「企業の子育て支援制度に対する支援 (33.9%)」の順となっています。

ウ 子育てと仕事の両立のため，企業に期待することについては，「子どもが病気の時などに休暇が取れる職場環境の整備 (78.2%)」が最も多く，次いで「育児休業が取得しやすい職場環境・雰囲気づくり (49.8%)」，「労働時間の短縮やフレックスタイムの導入 (45.6%)」の順となっています。

(4) その他

ア 呉市に住宅を購入したい人は，全体で 38.0%となっており，年齢層別では，「45～49 歳」が 56.1%と最も多く，次いで「30～34 歳 (42.7%)」「40～44 歳 (41.3%)」の順となっています。

イ 呉市に居住する理由は，「生まれ育ったまちだから」が 40.7%と最も多く，次いで「勤務先が市内だから (28.3%)」，「通勤が便利 (7.4%)」の順となっています。

3 調査結果の主な特徴

調査結果の主な特徴は、次のとおりです。[単位：％]
() 内の数値は前回調査の数値 ※は新規項目

(1) 結婚について

ア 結婚の状況	全体	男性	女性
結婚している	62.8 (62.7)	56.2 (57.6)	66.6 (66.5)
結婚していない	32.2 (34.6)	41.8 (41.3)	26.7 (29.8)
結婚していた	5.0 (2.8)	2.0 (1.1)	6.7 (3.6)
・年齢層別での「結婚している」			
20～24 歳	8.1 (2.1)	35～39 歳	75.8(81.2)
25～29 歳	49.2(41.7)	40～44 歳	79.2(72.7)
30～34 歳	66.5(79.7)	45～49 歳	77.0(87.5)

イ 結婚した年齢	全体	男性	女性
1 位 25～29歳	48.1 (46.7)	50.0 (48.1)	47.6 (45.5)
2 位 20～24歳	21.1 (22.4)	16.3 (17.0)	23.5 (26.1)
3 位 30～34歳	20.1 (19.5)	21.9 (23.6)	18.5 (17.0)

ウ 結婚の希望【図20】	全体	男性	女性
ぜひしたい	24.0 (40.7)	19.9 (35.9)	27.3 (45.8)
できればしたい	26.6 (28.4)	29.4 (29.5)	24.9 (26.5)
今は意識していない	31.0 (16.7)	31.5 (23.1)	30.3 (10.8)
結婚するつもりはない	17.2 (7.4)	18.4 (7.7)	16.0 (7.2)

エ 結婚をしていない理由	
1 位 結婚後の収入や住居など経済的な生活基盤が不安だから	42.9 (31.3)
2 位 理想の相手と出会わないから	41.4 (46.4)
3 位 結婚資金がないから	33.7 (25.0)

オ 結婚の希望をかなえるための取組【図21】	
1 位 子育てに関する支援の充実	58.7 (58.0)
2 位 家計全体の収入の増加	55.2 (38.4)
3 位 勤務時間の短縮などワークライフバランスの改善	43.5 (33.9)

(2) 出産について

ア 理想とする欲しい子どもの数【図22】	
1 人：6.3 (6.7) 2 人：49.6 (48.6) 3 人：30.8 (30.6)	
(結婚している人)	
欲しい子供の数	2.18 人(2.11 人)
現在の子どもの数	1.77 人(1.70 人)
・この回答結果を基に、市民希望出生率を計算すると、1.79 (1.85) となります。 (国民希望出生率：1.79)	

図20 結婚の希望(性別・年齢層別)

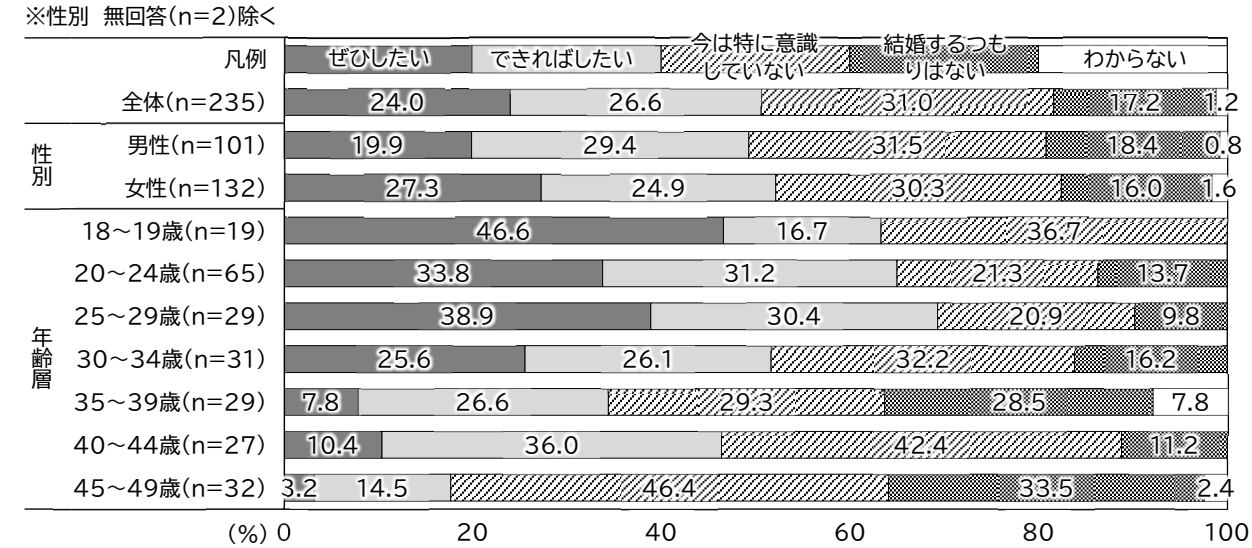


図21 結婚の希望をかなえるための取組

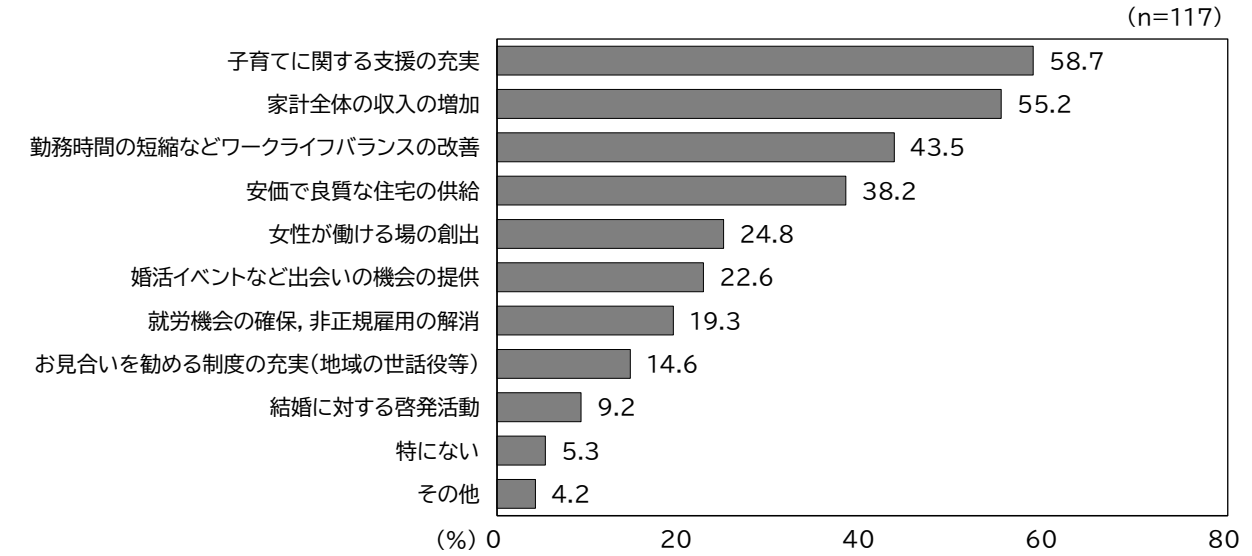
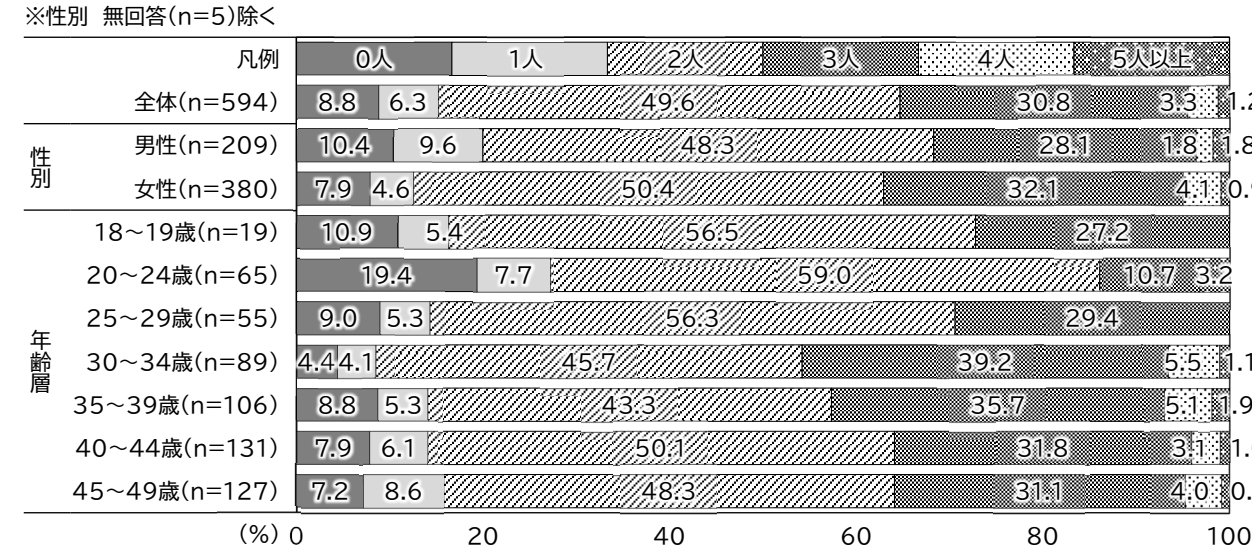


図22 理想とする欲しい子どもの数(性別・年齢層別)



イ 理想とする第1子の出産年齢 ⇒ 25～29 歳:60.9(53.5)

ウ 子どもの数が,理想の子どもの数より少ない理由

- 1 位 子どもの教育にお金がかかるから 30.5 (10.8)
- 2 位 結婚をしていないから 27.3 (28.1)
- 3 位 出産や育児にお金がかかるから 26.8 (12.2)

エ 理想の子どもの数を実現するために必要な条件【図23】

- 1 位 家計全体の収入が増える 65.8 (40.8)
- 2 位 教育費用の負担軽減 52.4 (31.1)
- 3 位 保育料の負担軽減 46.1 (27.6)

オ 出産前後での仕事の変化

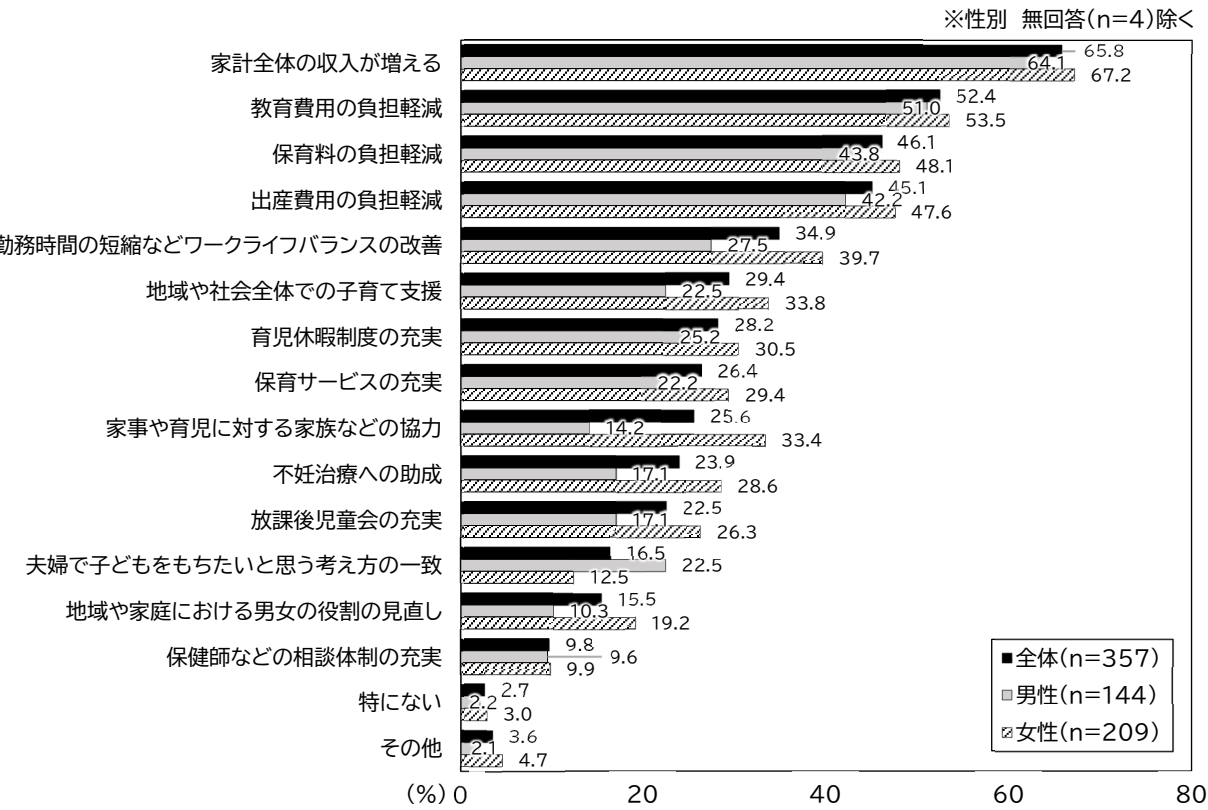
- 1 位 特に変化はない 23.5 (28.5)
- 2 位 妊娠・出産を機に仕事をやめた 23.2 (20.7)
- 3 位 出産後も仕事は同じだが,勤務条件が変わった 19.1 (14.5)

(3) 子育てについて

ア 子育てに関する不安や悩みを相談する人

- 1 位 配偶者 70.7 (71.5)
- 2 位 知人・友人 59.9 (57.4)
- 3 位 自分の親 54.9 (58.7)

図23 理想の子どもの数を実現するために必要な条件



イ 子育てについて,親や祖父母,友人,近所の知人などからの手助け【図24】

- 日常的にある 40.1 (38.4)
- ときどきある 38.3 (38.4)
- ほとんどない 15.4 (16.1)
- まったくない 6.3 (7.0)
- ・手助けをしてくれる人は,自分の親が 74.9 (一) で最も多く,次いで配偶者の親が 50.3 (一),友人が 9.0 (一) となっています。

ウ 子育てをする上で困っていること【図25】

- 1 位 出産や育児にお金がかかりすぎる 46.5 (38.4)
- 2 位 仕事と子育ての両立が難しい 31.4 (22.3)
- 3 位 困っていることは特にない 25.7 (29.3)

図24 子育てについて,親や祖父母,友人,近所の知人などからの手助け(性別・年齢層別)

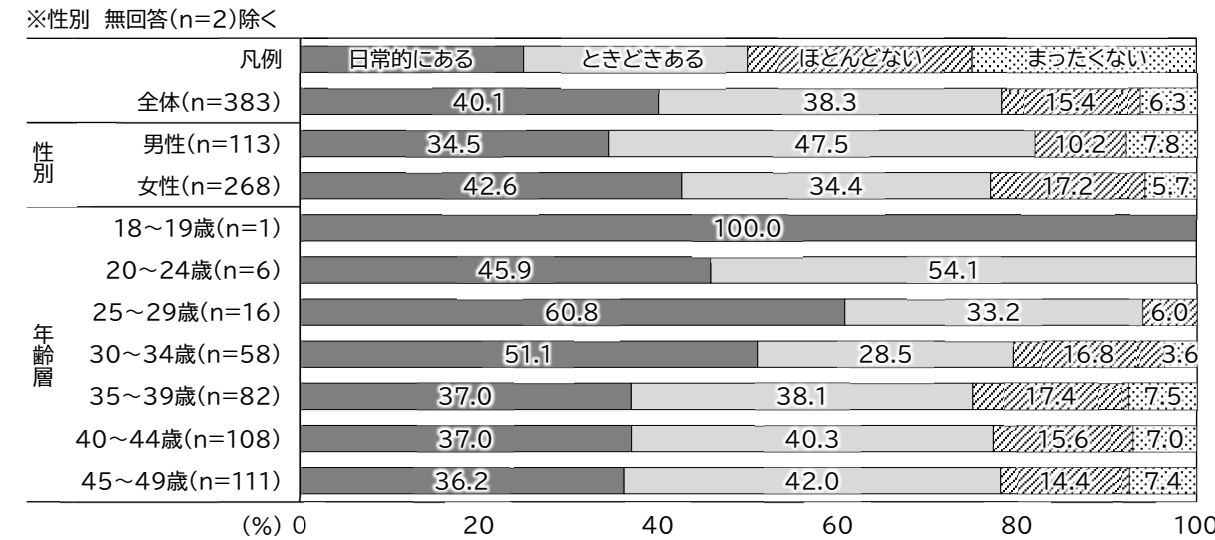
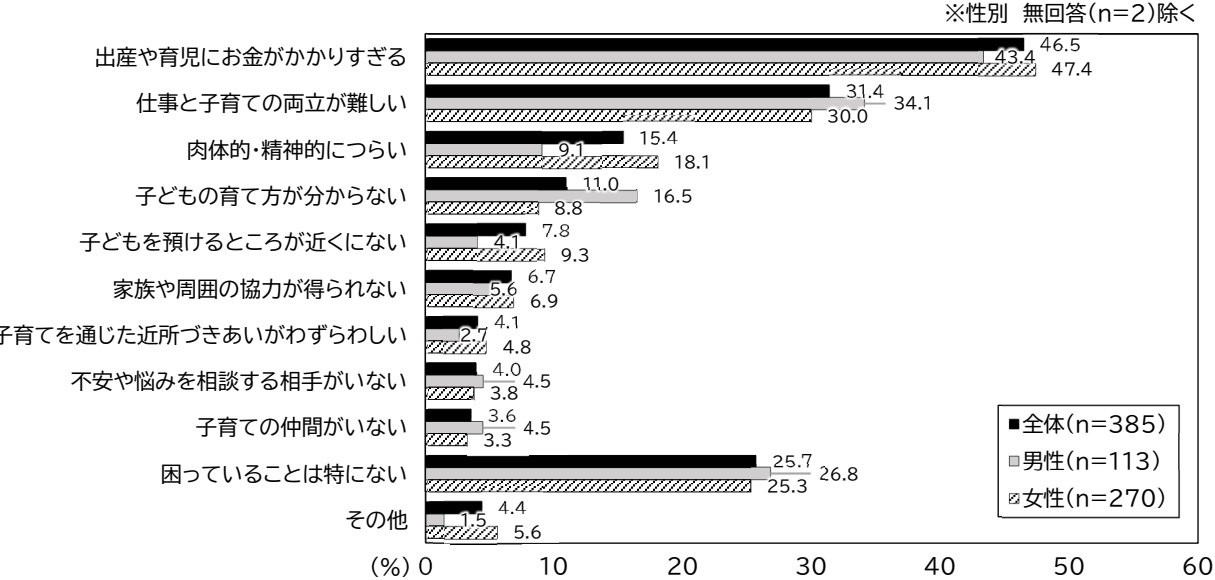


図25 子育てをする上で困っていること



エ 子育てを支援するために必要な取組【図26】

- 1 位 保育料や教育費などの負担軽減71.6 (67.4)
- 2 位 医療費補助や扶養控除などの優遇措置51.3 (58.7)
- 3 位 企業の子育て支援制度に対する支援33.9 (43.8)

オ 子育てと仕事の両立のために、企業に期待すること【図27】

- 1 位 子どもが病気の時などに休暇が取れる職場環境の整備78.2 (80.2)
- 2 位 育児休業が取得しやすい職場環境・雰囲気づくり49.8 (51.2)
- 3 位 労働時間の短縮やフレックスタイムの導入45.6 (46.3)
- ・「子どもが病気の時などに休暇が取れる職場環境の整備」は、40～44 歳(前回調査は 30～34 歳)が特に多くなっています。

図26 子育てを支援するために必要な取組(性別・年齢層別)

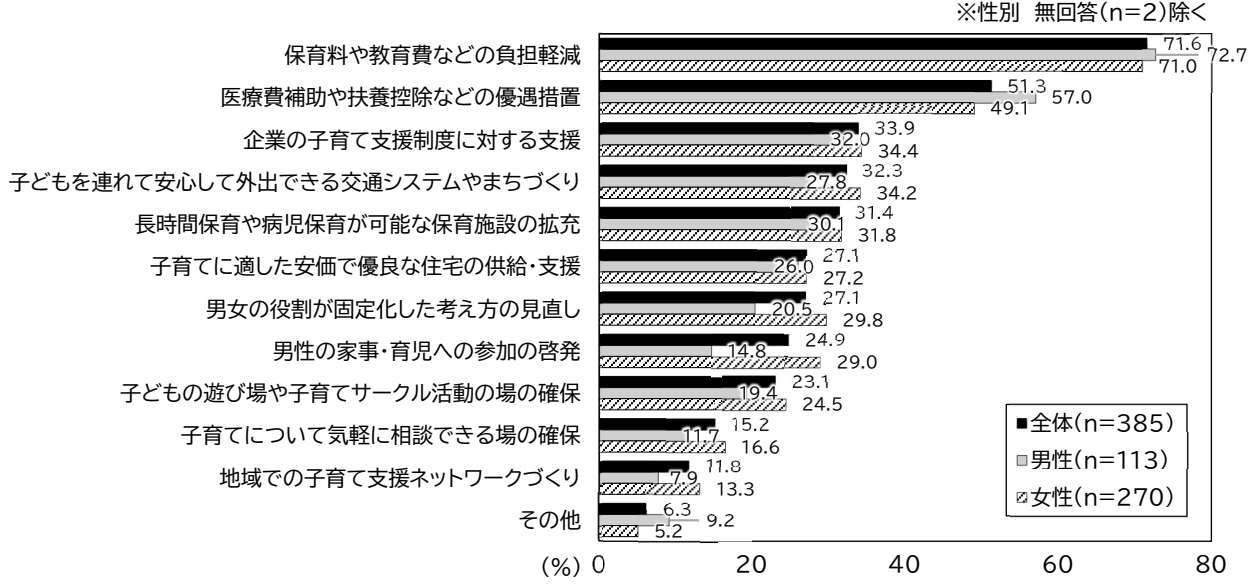
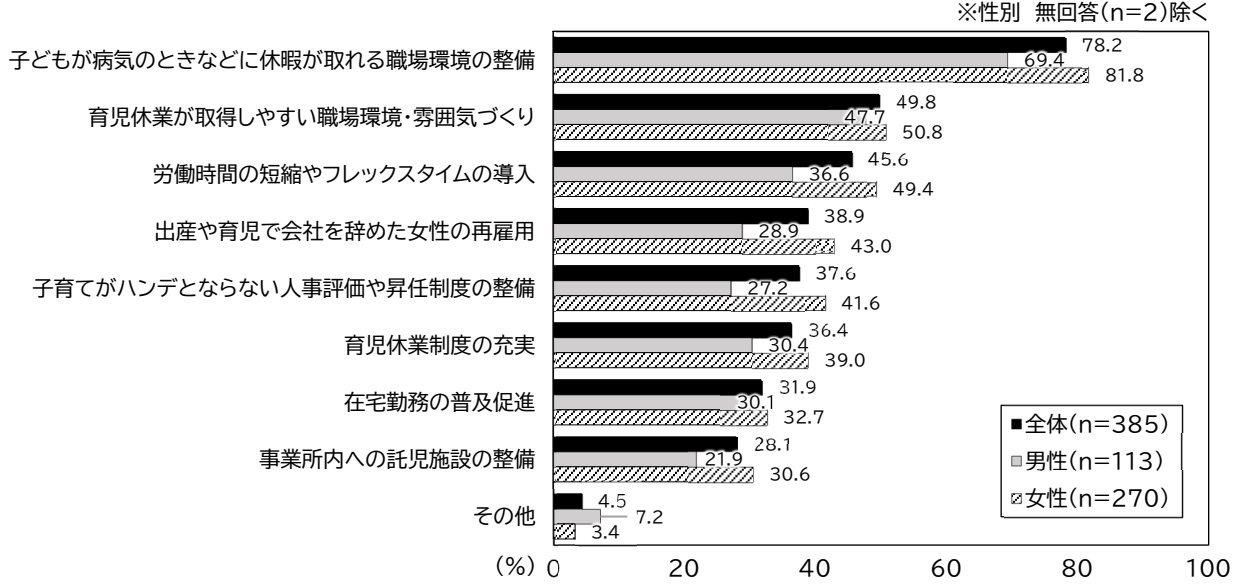


図27 子育てと仕事の両立のために、企業に期待すること



(4) その他

ア 現在の居住形態

- 1 位 1 戸建て持ち家48.7 (44.5)
- 2 位 賃貸マンション・アパート18.2 (21.2)
- 3 位 分譲マンション13.4 (12.0)
- ・年齢層別では、35～39 歳以降は「1 戸建て持ち家」の割合が 5 割を超えています。

イ 呉市に住宅を購入したい人 ⇒ 38.0(38.6)【図28】

- ・年齢層別では、45～49 歳(前回調査は 25～29 歳)が最も多く、約 5 割を超えています。
- ・結婚の有無別では、結婚していた(前回調査は結婚している)が最も多くなっています。

ウ 呉市に居住している理由

- 1 位 生まれ育ったまちだから40.7 (43.1)
- 2 位 勤務先が市内だから28.3 (28.1)
- 3 位 通勤が便利7.4 (9.4)

エ これからも呉市に住み続けたい人 ⇒ 44.3(46.1)【図29】

図28 呉市に住宅を購入したい人(性別・年齢層別・結婚有無別)

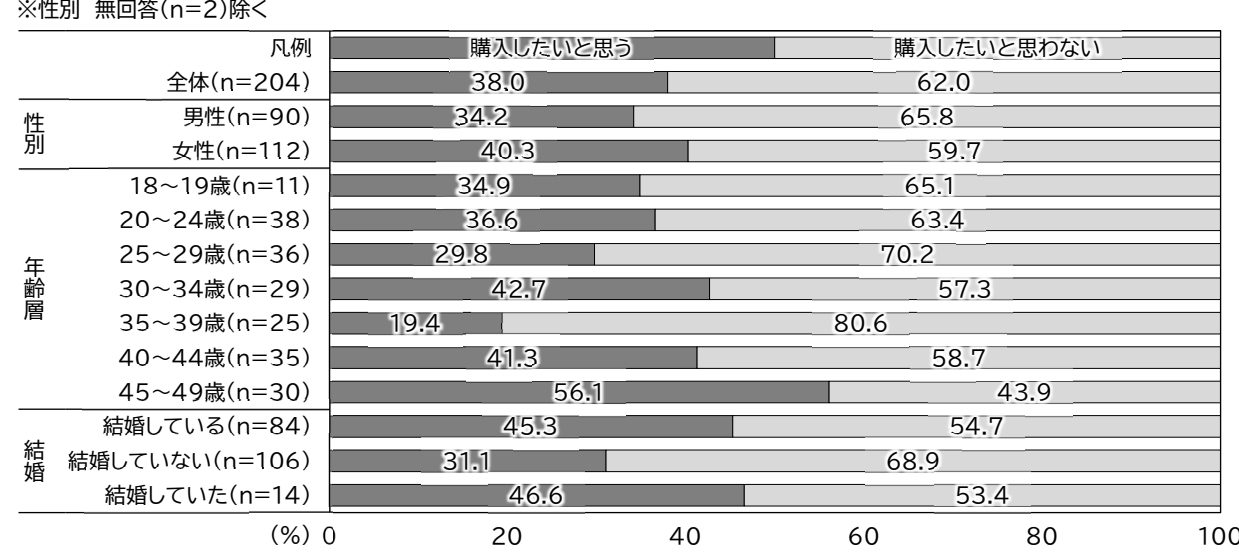
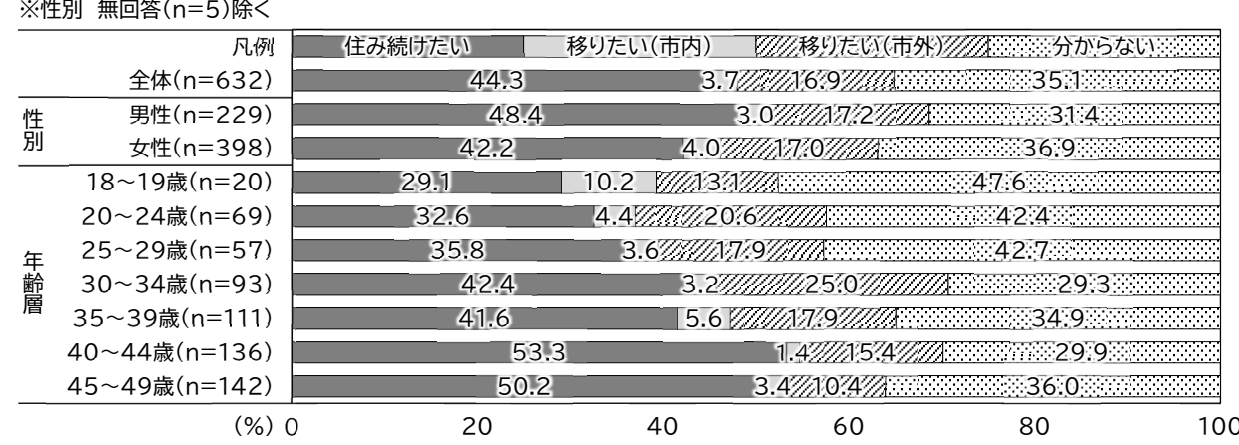


図29 これからも呉に住み続けたい人(性別・年齢層別)



第3 若者の定住志向に関するアンケート調査について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

若者の定住志向に関する実態や意向などを調査することにより、今後の市政運営の参考資料とします。

(2) 調査の設計

調査対象 呉市内の高等学校3年生〔前回調査（令和元年12月～令和2年1月実施）と同じ〕
抽出方法 悉皆調査
調査方法 各高校において配布・回収〔前回調査（令和元年12月～令和2年1月実施）と同じ〕
実施期間 令和6年11月〔前回調査 令和元年12月～令和2年1月〕

(3) 回収結果

有効回収数票 1,156票（回収率94.9%）〔前回調査：1,464票（回収率95.6%）〕
(人)

	合計	普通科, 総合学科	工業科	商業科	その他不明
全体	1,156	804	145	129	78
男性	575	376	135	56	8
女性	504	406	2	71	25
その他不明	77	22	8	2	44

2 調査結果の概況

調査結果の概況は、次のとおりです。

(1) 卒業後の進路希望

卒業後の進路希望は、4年制大学が62.3%、短期大学が2.1%、専修学校・各種学校が13.8%と進学希望が78.2%となり、就職希望は15.4%となっています。

(2) 進学希望者

ア 進学を希望する地域をみると、前回調査と同様に「広島県内（呉市以外）（57.3%）」が最も多く、「呉市内（5.5%）」を合わせると62.8%となり、県内への進学希望が6割を超えています。
イ 県外への進学希望者（33.4%）の卒業後の進路希望をみると、「（呉に帰ってくるつもりはない）」が35.8%となっています。主な理由として、「住んでみたい地域がある（25.0%）」「卒業後に就職したい業種や職種が市（県）内にない（23.3%）」「地元を離れて一人暮らしをしたい（23.3%）」「都会で暮らしてみたい（23.3%）」が、上位となっています。

(3) 就職希望者

ア 就職を希望する業種をみると、「製造業（51.7%）」が最も多く、次いで「電気・ガス・熱供給・水道業（7.9%）」となっています。
イ 就職を希望する地域をみると、「呉市内（52.2%）」が最も多く、「広島県内（呉市以外）（33.1%）」を合わせると、85.3%となり、県内への就職希望者が8割を超えています。

ウ 呉市、広島県内への就職を希望する理由をみると、「就職したい企業が市（県）内にある（57.2%）」が、5割を超えています。

(4) 呉市について

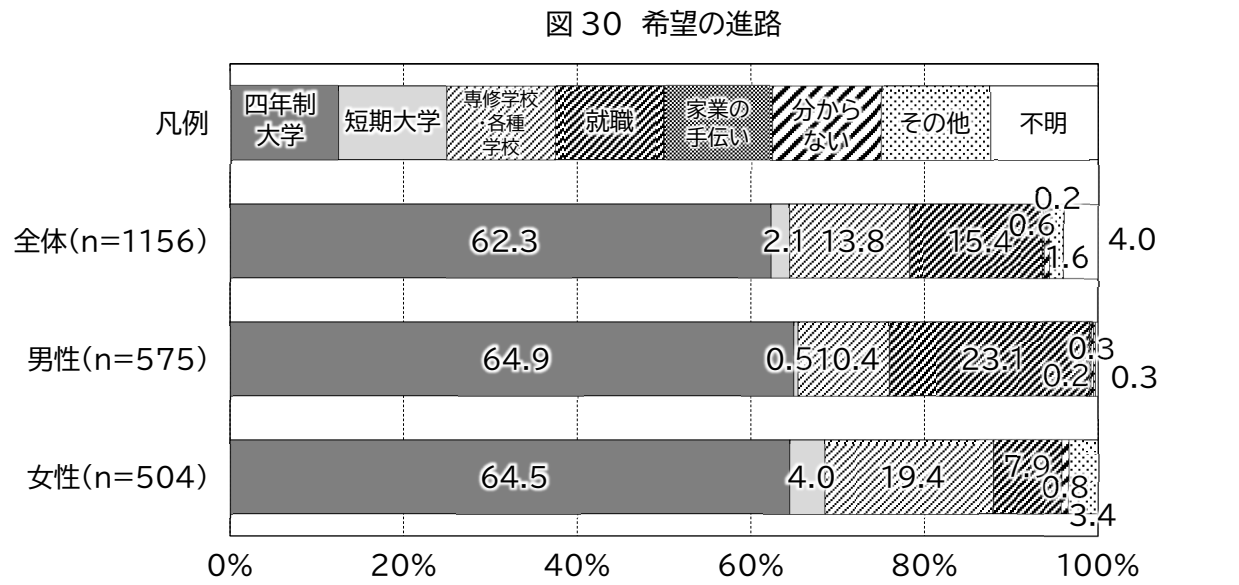
ア 呉市の「住みよさ」については、「住みやすい（18.0%）」（※前回は「住みよい」と「どちらかといえば住みやすい（43.6%）」（※前回は「住みよい」）を合わせると、61.6%の高校生が「住みやすい」と評価しており、呉市民意識調査の「住みやすい（61.3%）」と同程度となっています。
イ 呉市への定住意思については、「移りたい（市外）（31.2%）」が最も多く、次いで「分からない（28.4%）」「はい（25.3%）」となっています。
ウ 呉市への愛着については、愛着を「はい（51.0%）」が前回調査（56.2%）より5.2ポイント減少し、「いいえ（18.7%）」と「分からない（25.4%）」の合計（44.1%）は、前回調査（39.8%）より4.3ポイント増加しています。

3 調査結果の主な特徴

主な特徴は、次のとおりです。〔単位：%〕（ ）内は前回調査の数値

(1) 卒業後の進路

ア 希望の進路【図30】	全体	男性	女性
1位 四年制大学	62.3（55.1）	64.9（57.6）	64.5（53.2）
2位 就職	15.4（20.6）	23.1（27.6）	7.9（13.8）
3位 専修学校・各種学校	13.8（16.7）	10.4（11.1）	19.4（22.2）
・2位と3位は性別で異なり、女性は「専修学校・各種学校（19.4）」が多く、男性は「就職（23.1）」が多くなっている。			



(2)進学希望者

ア 進学を希望する地域【図 31】		全体	男性	女性
1 位	広島県内（呉市以外）	57.3（53.2）	54.6（49.9）	60.9（56.4）
2 位	広島県以外の中国圏	8.4（ 9.2）	8.9（12.1）	7.7（ 6.8）
3 位	大阪圏	8.0（ 8.8）	9.6（ 7.4）	6.5（ 9.7）
・広島県内を希望している人が 62.8%となり，前回調査（60.4%）と同様に 6 割を超えています。				
イ 呉市内, 広島県内を希望する理由		全体	男性	女性
1 位	進学したい学校が地元にある	64.4（69.0）	62.0（66.7）	67.7（71.3）
2 位	地元を離れるの必要性を感じない	25.0（24.7）	28.7（20.8）	22.3（26.8）
3 位	下宿や仕送りでお金がかかる	13.2（19.1）	12.0（17.3）	13.7（20.6）
ウ 広島県外を希望する理由		全体	男性	女性
1 位	進学したい学校が市（県）内にない	38.6（44.4）	35.7（43.2）	42.0（47.1）
2 位	地元を離れて一人暮らしがしたい	34.0（26.2）	39.2（26.8）	25.4（24.5）
3 位	希望する学部や学科が市（県）内にない	30.9（28.0）	28.7（23.0）	33.3（33.7）

図 31 進学を希望する地域

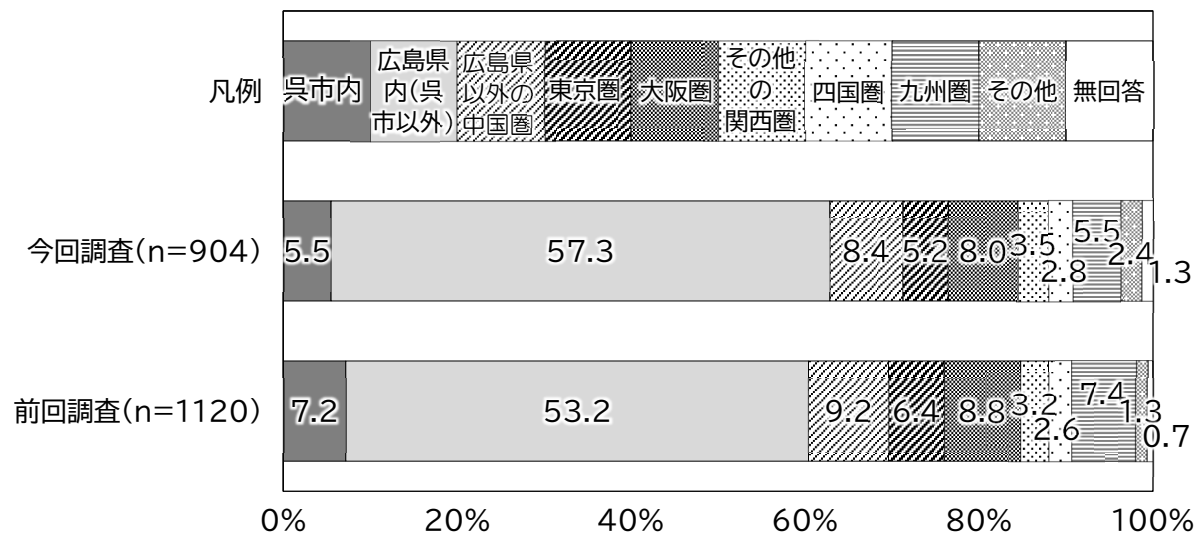
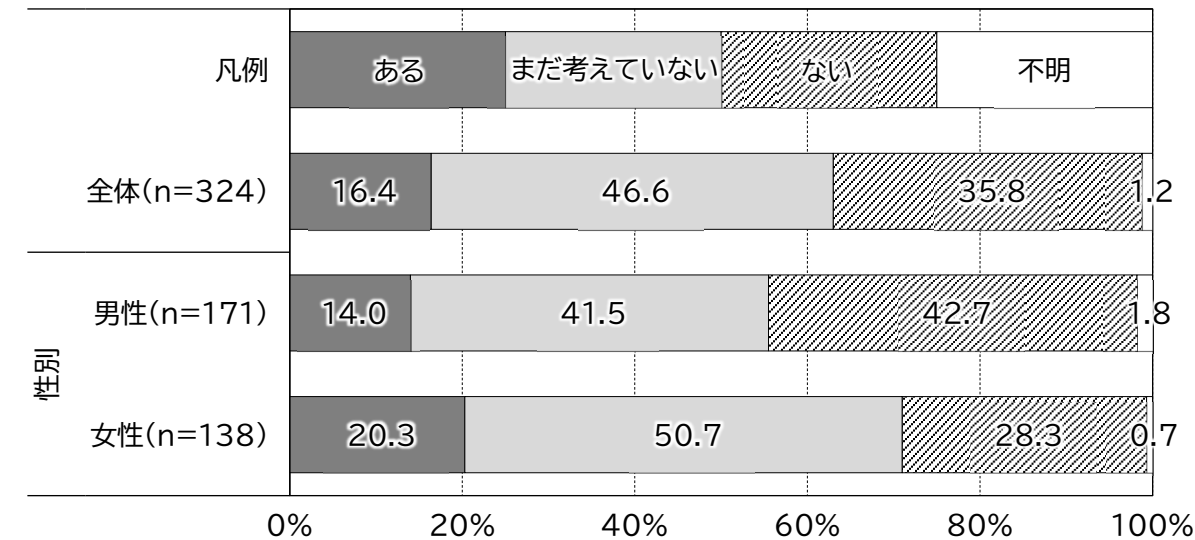
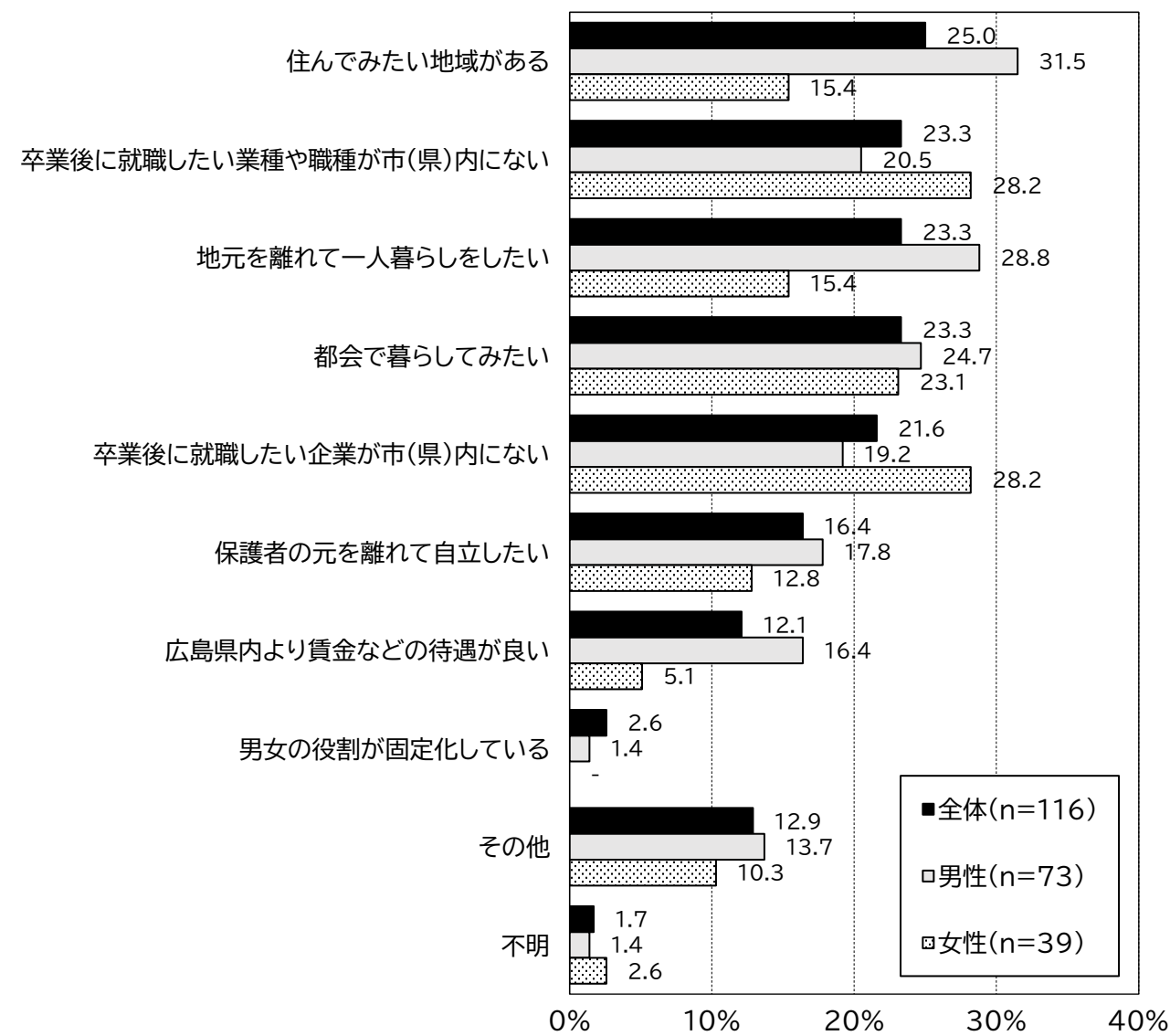


図32 卒業後、呉に帰りたいと考えている人



エ 卒業後、呉に帰りたいと考えている人【図32】		全体	男性	女性
・まだ考えていない		46.6（60.2）	41.5（67.1）	50.7（54.3）
・ない（帰ってくるつもりはない		35.8（25.3）	42.7（20.7）	28.3（28.8）
・ある（帰ってくるつもりである）		16.4（12.9）	14.0（11.3）	20.3（14.4）
オ 呉に帰ってこようと思わない理由【図 33】		全体	男性	女性
1 位	住んでみたい地域がある	25.0（20.0）	31.5（25.0）	15.4（16.7）
2 位	卒業後に就職したい業種や職種が市（県）内にない	23.3（24.5）	20.5（18.2）	28.2（30.0）
	地元を離れて一人暮らしをしたい	23.3（20.9）	28.8（15.9）	15.4（25.0）
	都会で暮らしてみたい	23.3（20.9）	24.7（20.5）	23.1（20.0）
カ 卒業後の希望業種		全体	男性	女性
1 位	医療・福祉	23.7（22.3）	15.6（11.0）	32.1（31.4）
2 位	教育・学習支援業	14.7（15.6）	12.4（12.7）	17.6（18.0）
3 位	情報通信業	10.2（ 9.4）	17.0（17.8）	3.2（ 2.4）

図 33 呉に帰ってこようと思わない理由



(3)就職希望者(有効回答 178 人)

ア 就職を希望する高校生の希望業種		全体	男性	女性
1 位	製造業	51.7 (46.4)	59.4 (61.4)	25.0 (17.8)
2 位	電気・ガス・熱供給・水道業	7.9 (2.6)	8.3 (3.7)	2.5 (—)
3 位	公務（他に分類されるものを除く）	7.3 (12.6)	7.5 (14.3)	7.5 (8.9)
イ 就職を希望する地域【図 34】		全体	男性	女性
1 位	呉市内	52.2 (57.9)	53.4 (62.4)	55.0 (54.5)
2 位	広島県内（呉市以外）	33.1 (35.4)	31.6 (31.2)	37.5 (39.6)
3 位	広島県以外の中国圏	2.2 (0.3)	3.0 (0.5)	— (—)
ウ 呉市内, 広島県内を希望する理由【図 35】		全体	男性	女性
1 位	就職したい企業が市（県）内にある	57.2 (55.0)	61.1 (59.9)	43.2 (45.3)
2 位	地元を離れる必要性を感じない	28.9 (26.6)	25.7 (27.7)	40.5 (26.3)
3 位	友達や知り合いと離れたくない	16.4 (12.8)	16.8 (11.9)	16.2 (14.7)
エ 広島県外を希望する理由【図 36】		全体		
1 位	就職したい業種や職種が市（県）内にない	25.0 (29.4)		
	地元を離れて一人暮らしをしたい	25.0 (23.5)		
	都会で暮らしてみたい	25.0 (23.5)		
オ 就職先を検討する際に重視すること		全体	男性	女性
1 位	安定している	60.7 (60.9)	63.2 (61.9)	52.5 (59.4)
2 位	休日, 休暇が多い	44.4 (32.8)	44.4 (34.9)	47.5 (28.7)
3 位	自分のやりたい仕事（職種）ができる	39.9 (34.4)	36.1 (32.8)	55.0 (37.6)

図 34 就職を希望する地域

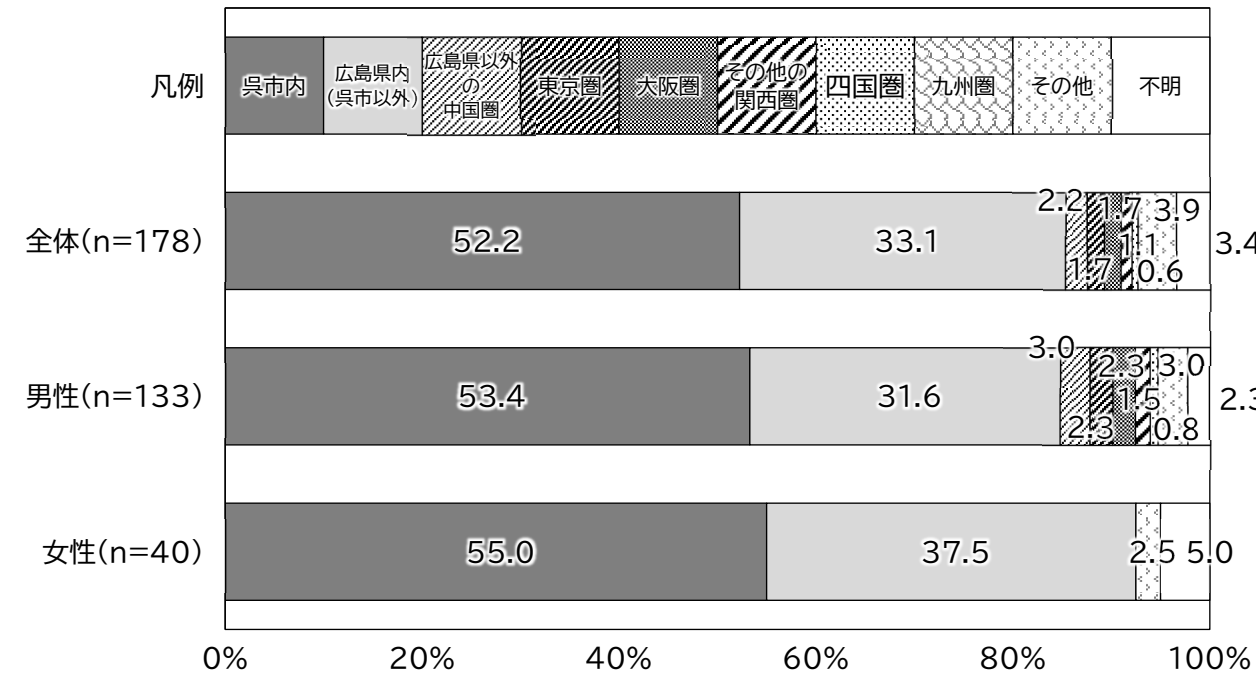


図 35 呉市内,広島県内を希望する理由

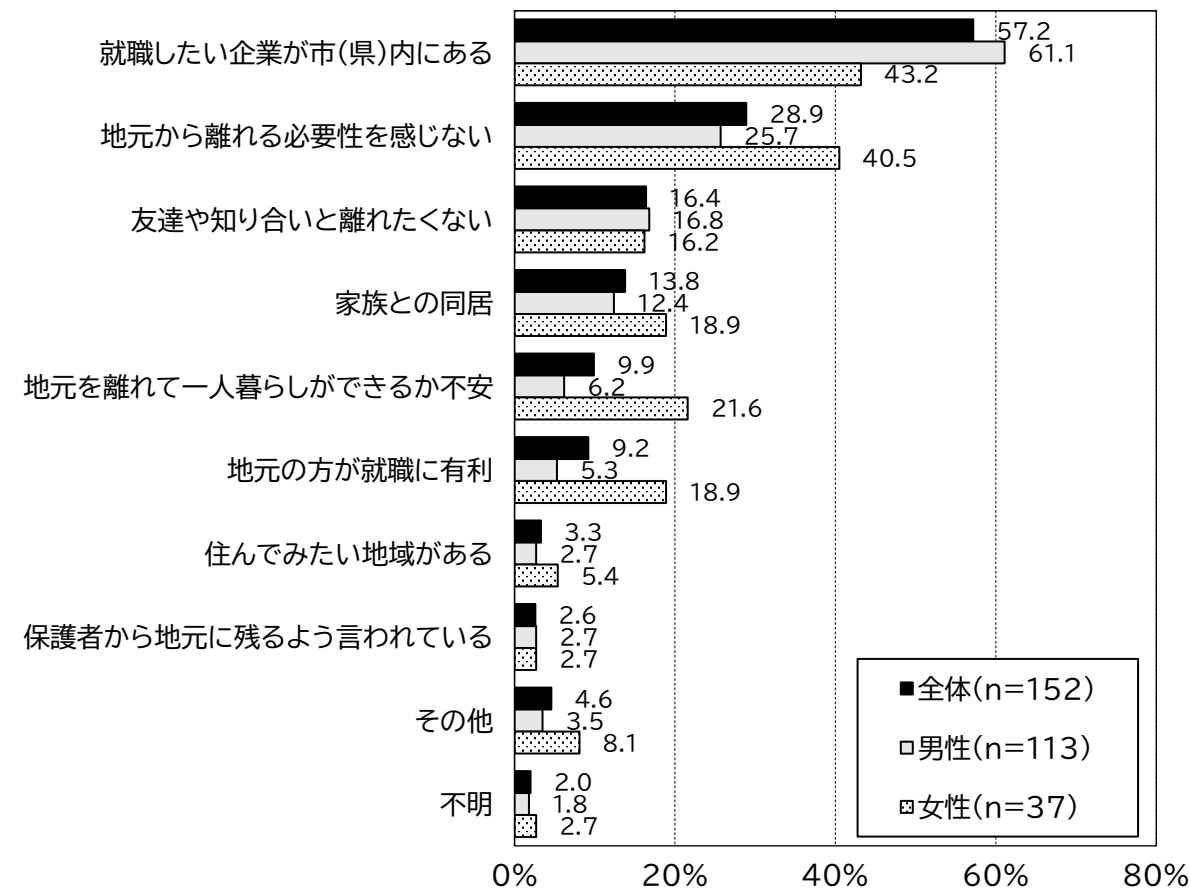
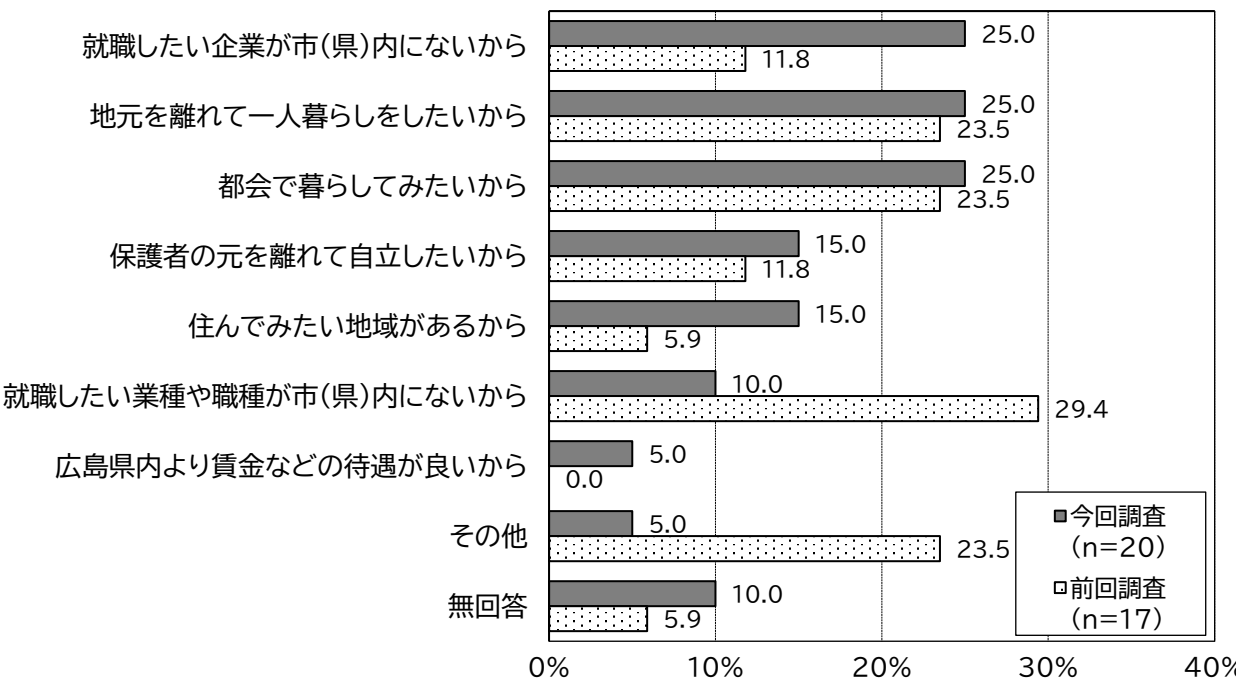


図 36 広島県外を希望する理由



(4) 呉市について

ア 呉市の住みよさ【図 37】			
	全体	男性	女性
住みやすい	18.0 (23.9)	21.7 (27.0)	15.1 (21.2)
どちらかといえば住みやすい	43.6 (47.1)	42.6 (42.2)	49.8 (52.8)
どちらかといえば住みにくい	15.7 (12.8)	14.3 (11.1)	18.7 (14.3)
住みにくい	8.7 (5.1)	10.8 (6.5)	6.7 (3.3)
イ 呉市の住みやすいと思うところ【図 38】			
	全体	男性	女性
1 位 自然環境が良い	38.3 (38.2)	37.7 (31.1)	43.5 (45.1)
2 位 買物環境が充実している	27.2 (23.7)	26.1 (22.6)	31.0 (24.8)
3 位 住宅環境が充実している	17.9 (19.5)	17.6 (20.3)	19.8 (18.7)
ウ 呉市が住みにくいと思うところ			
	全体	男性	女性
1 位 レジャー・娯楽施設が少ない	59.8 (55.7)	60.3 (54.9)	65.5 (57.2)
2 位 公共交通機関が不便	3.0 (32.4)	31.3 (26.5)	38.3 (37.8)
3 位 文化・スポーツ施設が少ない	20.0 (19.1)	24.3 (23.9)	16.5 (14.3)
エ 住んでいる地域への定住意思【図 39】			
	全体	男性	女性
はい（住み続けたい）	25.3 (29.0)	26.6 (31.1)	27.0 (27.3)
移りたい（市内）	10.4 (8.6)	10.1 (6.0)	11.1 (11.1)
移りたい（市外）	31.2 (22.8)	33.0 (20.7)	30.8 (24.3)
わからない	28.4 (36.5)	29.2 (37.8)	30.0 (35.6)
オ 呉市への愛着			
	全体	男性	女性
はい（ある）	51.0 (56.2)	52.9 (56.2)	54.6 (57.2)
いいえ（ない）	18.7 (10.9)	21.0 (12.7)	15.7 (8.6)
わからない	25.4 (28.9)	24.9 (25.8)	28.4 (31.8)

図 37 呉市の住みよさ

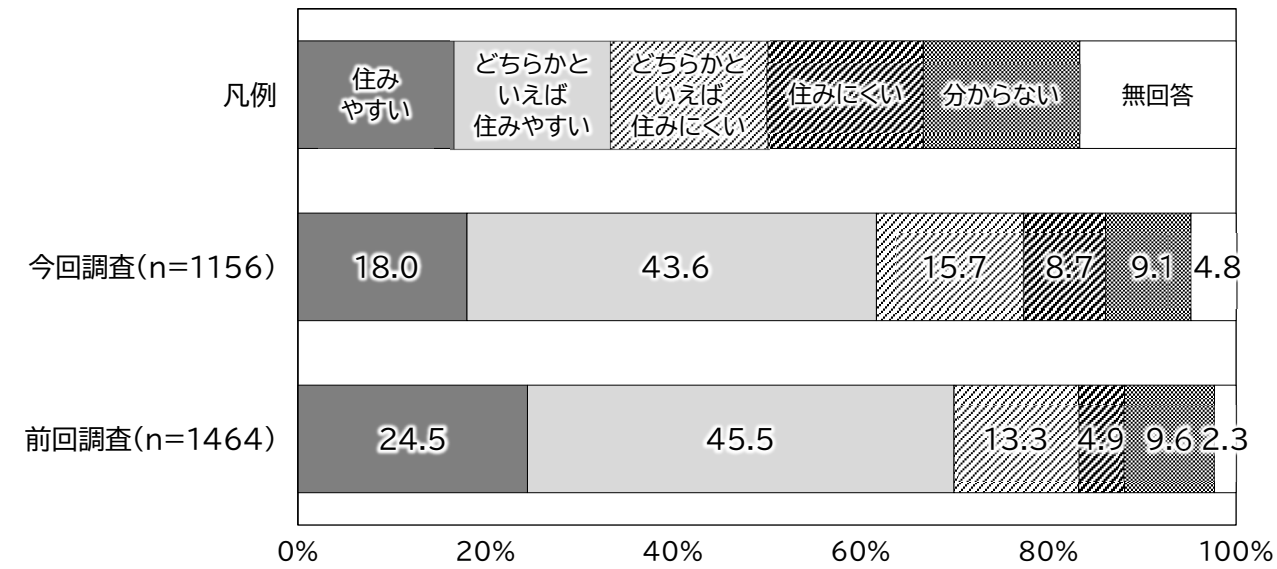


図 38 呉市の住みやすいと思うところ

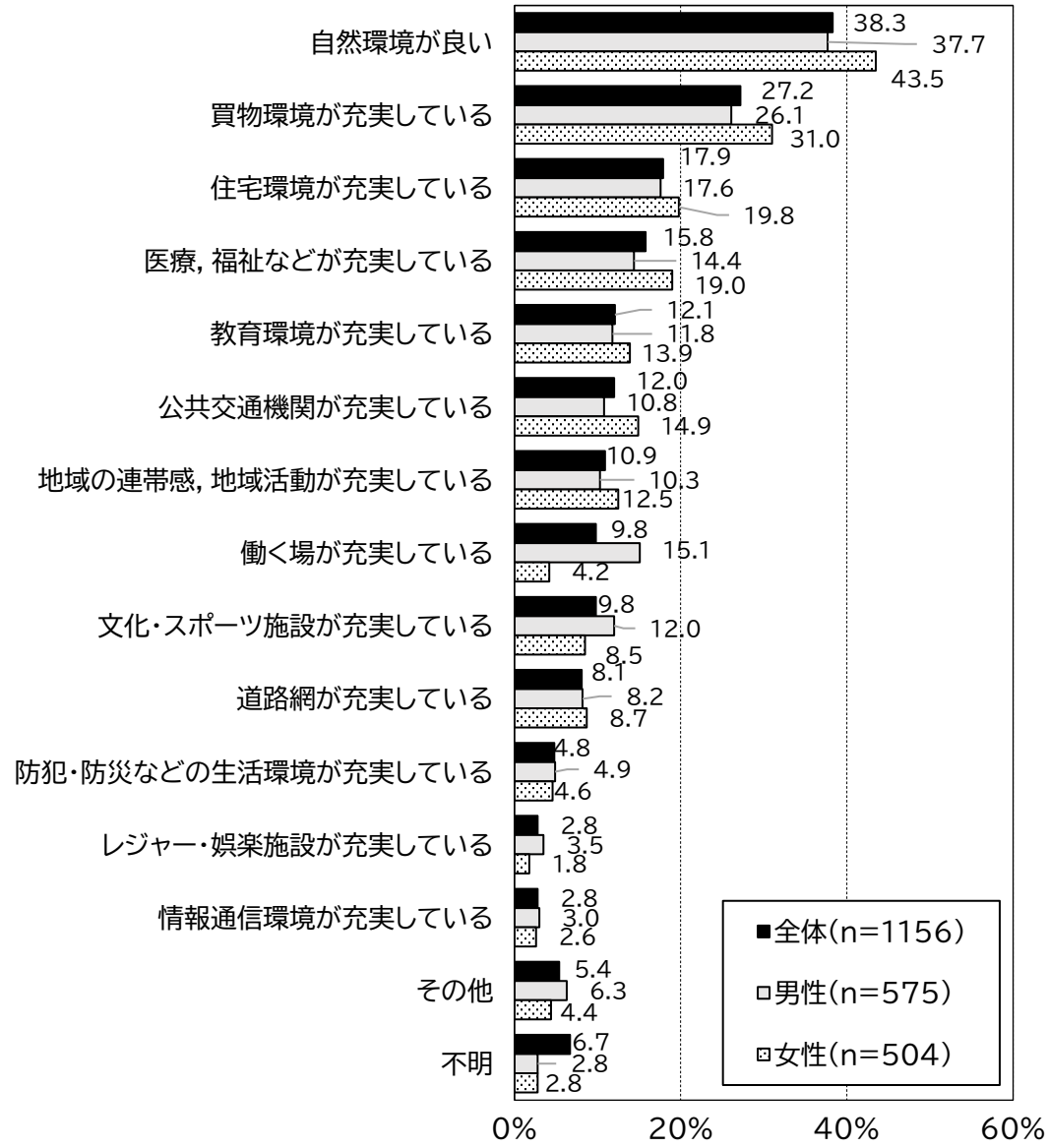


図 39 住んでいる地域への定住意思

